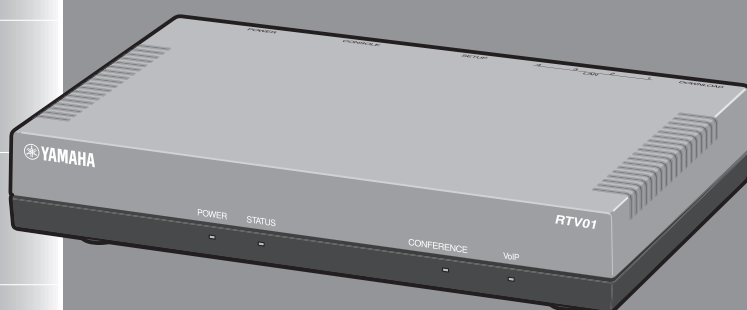




# RTV01

プロジェクトフォン会議管理ファーム版

*Project Phone*



はじめに

準備する

会議に必要な  
設定を行う

会議を  
開催する

本機の  
運用管理

困ったときは

付録

## 取扱説明書

ヤマハ RTV01 をお買い上げいただきありがとうございます。  
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。  
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。  
本書はなくさないように、大切に保管してください。

# 安全上のご注意

## 本機を安全にお使いいただくために

以下の点を必ず守ってお使いください。

### 安全のための注意事項を守る

詳しくは、6～8ページをご覧ください。

### 故障したら使用を中止する。

お買い上げの販売店またはヤマハのお問い合わせ窓口(85ページ)にご連絡ください。

## マークの意味

本書では、本機を安全にお使いいただくため、守っていただきたい事項に次のマークを表示していますので、必ずお読みください。

### 警告

人体に危険を及ぼしたり、装置に大きな損害を与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。

### 注意

機能停止を招いたり、各種データを消してしまう可能性があることを示しています。十分注意してください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体や「設定・管理ページ」の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 本機を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本機の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

# はじめにお読みください

お買い上げいただき、ありがとうございます。

本機はヤマハIP電話会議システム「プロジェクトフォン」専用の会議管理サーバーです。

## 本書の主な内容

### ネットワークに接続する前に必要な準備についての情報

- 準備する ..... ▶ 17ページ

### 会議を開催するために必要な情報

- 会議に必要な設定を行う ..... ▶ 36ページ
- 会議を開催する ..... ▶ 54ページ

### 日々の運用管理に必要な情報

- 本機の運用管理 ..... ▶ 70ページ

### 問題が発生した場合に、問題を解決するための情報

- 困ったときは ..... ▶ 72ページ
- サポート窓口のお問合わせ先 ..... ▶ 85ページ

#### ご注意

- 本書は、本機の基本的な機能を使用するための情報を提供するためのものです。
- 「設定・管理ページ」のヘルプにはより詳細な情報が掲載されています。必要にあわせてご覧ください。

その他、本書には多くの情報が記載されています。  
詳しくは目次をご覧ください。

▶ 4 ページを  
ご覧ください。

# 目次

安全上のご注意.....	2
はじめにお読みください.....	3
⚠ 警告.....	6
⚠ 注意.....	7
使用上のご注意.....	8
本書の表記について .....	9
お客様サポートについて(サポート規定) .....	10

---

## はじめに

本機でできること .....	12
通常のRTV01との機能差分.....	13
各部の名称とはたらき .....	14

---

## 準備する

準備の流れ .....	17
準備1：接続する .....	19
準備2：「設定・管理ページ」を開く .....	21
準備3：パスワードを設定する .....	24
準備4：日付・時刻を合わせる .....	26
準備5：ネットワーク設定を登録する.....	28
1.本機のLANポートのIPアドレスを指定する .....	28
2.デフォルトゲートウェイを指定する .....	30
3.DNSサーバーを指定する .....	32
4.IPキープアライブ確認用IPアドレスを指定する .....	34

---

## 会議に必要な設定を行う

設定の流れ .....	36
設定1：SIPドメイン名を設定する .....	38
設定2：拠点情報を設定する .....	40
設定3：プロジェクトフォンの設定を変更する .....	48
設定4：設定を確認する .....	53

---

## 会議を開催する

本機を利用した会議の概要.....	54
本機で開催できる会議 .....	54
会議開催の流れ .....	55
会議の開催時間と参加拠点を登録する(会議予約) .....	56
会議予約する .....	56
繰り返しの会議を予約する .....	60
会議予約を削除する .....	61
会議を開始する .....	62
会議を予定通りに開始する .....	62
予約開始時刻を待たずに会議を開始する .....	64
予約なしで会議を開始する .....	65
会議中の操作 .....	66
会議の状況を確認する .....	66
会議を延長する .....	67
会議中に参加拠点を変更する .....	68
会議を終了する .....	69

---

## 本機の運用管理

本機で利用できる保守管理機能 .....	70
----------------------	----

---

## 困ったときは

故障かな?と思ったら.....	72
Q1：ランプ類が消灯／点滅している .....	73
Q2：「設定・管理ページ」で設定できない .....	75
Q3：会議を開催できない.....	78
Q4：その他の問題.....	79
本機の設定を初期化する.....	80
パスワードを忘れてしまった場合は .....	84
サポート窓口のご案内.....	85
お問い合わせの前に .....	85
お問い合わせ窓口.....	85

---

## 付録

主な仕様.....	86
本機を譲渡／廃棄する際のご注意.....	87
索引 .....	88

# 警告

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。  
本機を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったとき、および電源コードが発熱しているときは、直ちに電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源コードを触らないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 本機の電源部は日本国内用AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 安全のため、電源コードは容易に外すことのできるコンセントに接続してください。家具の後ろなど手の届かない場所にあるコンセントには接続しないでください。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 本機の通風口を塞いだ状態で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 電源を入れたままケーブル類を接続しないでください。感電や故障、本機および接続機器の破損の恐れがあります。
- 本機のポートに指や異物を入れないでください。感電や故障、ショートの原因となります。
- 本機を他の機器と重ねて置かないでください。熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源コードやケーブル類を取り外し、使用をお控えください。落雷によって火災や故障の原因となることがあります。

# 注意

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、電源コードをコンセントから抜き、乾燥させ、充分室温に慣らしてから使用してください。
- ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- アースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。アース接続は必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源コードをコンセントから取りはずしてから行ってください。
- 本機を修理や移動等の理由により輸送する場合には、必ず本機の設定を保存してください。

# 使用上のご注意

- 本機の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 誤動作や故障により本機の記録内容が変化・消失する場合があります。通話履歴や障害履歴、会議情報、設定情報などの重要なデータはおお客様の責任のもと、「設定・管理ページ」から定期的にダウンロードするなど、バックアップされることをお奨めいたします。
- 本機のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本機の設置場所、向きを変えてみてください。
- 本機を譲渡する際は、マニュアル類も同時に譲渡してください。
- 本機を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。または、お住まいの自治体の指示に従ってください。本機はコイン型リチウム電池を内蔵しています。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 高調波について

JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

## 輸出について

本機は「外国為替及び外国貿易法」で定められた規制対象貨物(および技術)に該当するため、輸出または国外への持ち出しには、同法および関連法令の定めるところに従い、日本国政府の許可を得る必要があります。



# 本書の表記について

## 略称について

本書ではそれぞれの製品について、以下のように略称で記載しています。

- YAMAHA RTV01 プロジェクトフォン会議管理ファーム版：本機
- IP電話会議システム PJP-100H、PJP-50R：プロジェクトフォン
- Microsoft® Windows®：Windows
- 10BASE-T（100BASE-TX）ケーブル：LANケーブル

## 設定例について

本書に記載されているIPアドレスやドメイン名、URLなどの設定例は、説明のためのものです。実際に設定するときは、必ず実際のネットワーク構成に合わせた設定値をお使いください。

## 詳細な技術情報について

本機を使いこなすためには、インターネットやネットワークに関する詳しい知識が必要となる場合があります。付属のマニュアルではこれらの情報について解説しておりませんので、詳しくは市販の解説書などを参考にしてください。

## 商標について

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Microsoft Excelは米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。

# お客様サポートについて（サポート規定）

ヤマハ株式会社は本機を快適に、またその性能・機能を最大限に活かしたご利用が可能となりますように以下の内容・条件にてサポートをご提供いたします。

## 1. サポート方法

- ①FAQ、技術情報、設定例、ソリューション例等のWeb掲載
- ②電話でのご質問への回答
- ③お問い合わせフォームからのご質問への回答
- ④カタログ送付
- ⑤代理店・販売店からの回答

ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店よりご回答させていただく場合がありますので予めご了承のほどお願い致します。

## 2. サポート項目

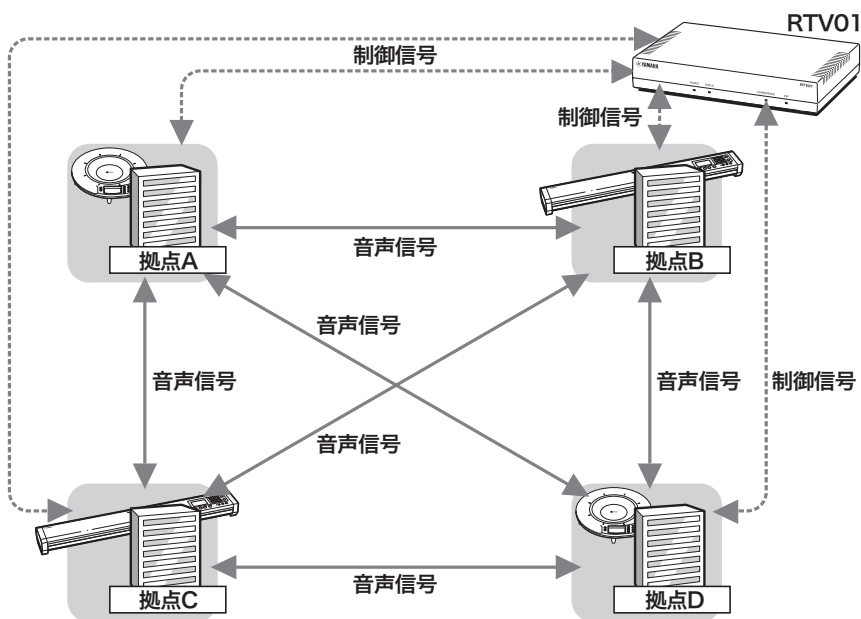
- ①製品仕様について
- ②お客様のご利用環境に適した弊社製品の選定について
- ③簡易なネットワーク構成での利用方法について
- ④お客様作成のconfigの確認、及びlogの解析
- ⑤製品の修理について
- ⑥代理店または販売店のご紹介

### 3. 免責事項・注意事項

- ① 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行いますが、回答内容の保証、及び回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。  
また、サポートの結果又は製品をご利用頂いたことによって生じたデータの消失や動作不良等によって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益等を含む損失及びそれらに付随的な損失等のあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。  
尚、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。但し、契約及び法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。
- ② ファームウェアの修正は弊社が修正を必要と認めたものについて生産終了後2年間行います。
- ③ 質問受付対応、修理対応は生産終了後5年間行います。
- ④ 実ネットワーク環境での動作保証、性能保証は行っておりません。
- ⑤ 期日・時間指定のサポート、及び海外での使用、日本語以外でのサポートは行っておりません。
- ⑥ お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
- ⑦ 再現性がない、及び特殊な環境でしか起きない等の事象に関しては、解決のための時間がかかったり適切なサポートが行えない場合があります。
- ⑧ オンサイト保守・定期保守等は代理店にて有償にて行います。詳細な内容は代理店にご確認をお願い致します。
- ⑨ 他社サービス、他社製品、及び他社製品との相互接続に関するサポートは弊社Web上に掲載している範囲に限定されます。
- ⑩ やむを得ない事由により本機の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。尚、交換、返品に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
- ⑪ 製品の修理は代理店・販売店経由で受け付けて頂きます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付は致しておりません。発送は弊社指定の通常宅配便(国内発送のみ)にて行わせて頂きます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承のほどお願い致します。尚、保証期間中の無償修理(無償例外事項)等の詳細規定は保証書に記載しております。
- ⑫ 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

# 本機でできること

本機は、ヤマハIP電話会議システム「プロジェクトフォン」専用の会議管理サーバーです。端末アドレス情報の管理や端末間の呼のルーティング、会議の予約情報管理、端末間接続の自動構築などの機能を搭載しています。本機を利用することで、最大で10台が参加する多地点音声会議を、同時に最大8つまで開催できます。



4拠点のメッシュ型接続で会議ネットワークを構成した場合の例

## 端末のアドレス情報を管理し、端末間の呼をルーティング

端末のアドレス情報を管理し、発信端末からの接続要求を相手先端末へルーティングして着信させます。端末を非固定アドレスで運用する場合でも、端末のアドレスを意識する必要はありません。また、端末間の直接受発呼の場合でも本機はSIPサーバーとして機能するため、通話履歴などの本機の各種ログ管理機能を利用できます。

## プロジェクトフォンのミキシング機能による多地点音声会議

プロジェクトフォンのミキシング機能を利用して、高価な多地点接続装置を使用せずに最大10拠点の多地点音声会議を実現できます。音声データは拠点間で直接接続されるため、特定の拠点に負荷が集中することはありません。

## 会議管理機能と遠隔制御で、会議の開催を自動化

あらかじめ会議の参加拠点と開催日時を予約しておくと、本機が自動的に参加拠点のプロジェクトフォンを呼び出し、会議ネットワークを自動構築します。拠点側ではプロジェクトフォンの操作に気を取られることなく、すぐに会議へ参加できます。

## かんたん操作

- 本機は設定のための「設定・管理ページ」(GUI画面)を内蔵しています。パソコンのWebブラウザを使って本機の設定を変更できるだけでなく、開催中の会議や参加拠点の状態をリアルタイムに監視することもできます。
- 本機の前面ランプの状態を確認することで、通信状態の異常や、会議開催の有無などを確認できます。

## 通常のRTV01との機能差分

プロジェクトフォン会議管理ファーム版では、通常のRTV01に会議管理機能が追加されている以外に、以下の変更があります。

### 削除された一般機能

以下の機能が削除されました。

- IPv6対応
- 冗長構成機能
- サーバー連携機能
- ハントグループ機能
- 事業所番号と内線番号を組み合わせた電話帳機能

### 削除された保守・管理機能

以下の機能が削除されました。

- DOWN LOAD ボタンによるリビジョンアップ
- 統計情報表示機能

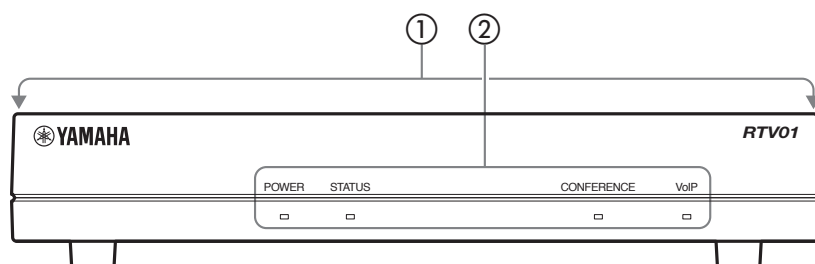
### その他

以下の変更があります。

- MAIN ランプがCONFERENCE ランプとなります(添付のラベルを貼り付けてください)。
- CONSOLEポートやTELNET (多重)、SSHを利用したコマンドラインによる設定機能は、非公開扱いとなります。

# 各部の名称とはたらき

## 前面



### ① 通風口

内部の熱を逃がすための穴です。

### ② ランプ

本機の動作状態を示します。

- **POWER**：本機の電源の状態を示します。電源が入っているときは点灯します。
- **STATUS**：本機の通信状態を示します。
- **CONFERENCE**：会議の状態を示します。会議の開催中は点灯します。
- **VoIP**：会議通話の状態を示します。通話中は点灯します。

### 前面ランプの点灯状態

基本的な点灯パターンは以下の通りです。詳細な動作については、「Q1：ランプ類が  
消灯・点滅している」(73ページ)をご覧ください。

●点灯 ○消灯

#### POWERランプ

- 電源が入っています。
- 電源が切れているか、または停電しています。

#### STATUSランプ

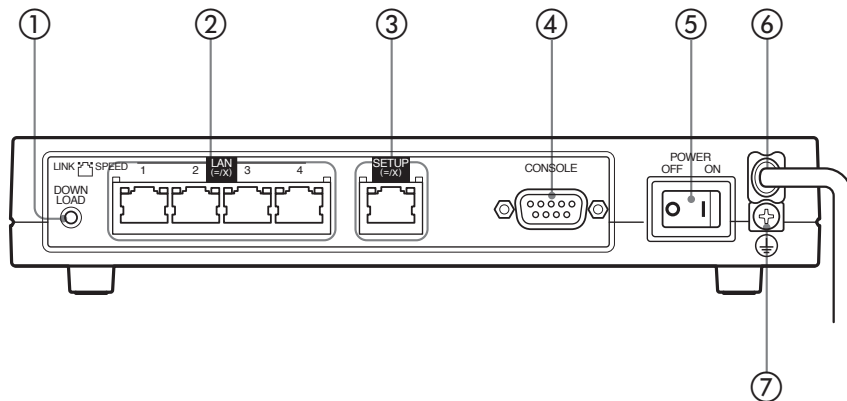
- 通信に問題が発生しています。
- 通信に問題はありません。

#### CONFERENCEランプ

- 会議を開催しています。開催中の会議が1つでもあると点灯します。
- 会議を開催していません。

#### VoIPランプ

- 会議通話が現在行われています。
- 会議通話は現在行われていません。



## ① DOWNLOADボタン

本機では使用できません。

## ② LANポート

パソコンやルーター、HUBなどのネットワーク機器とLANケーブルで接続します。各LANポートの上部には、LINKランプ(左側)とSPEEDランプ(右側)があります。

- **LINKランプ**：リンク状態によって、消灯(リンク喪失)または点灯(リンク確立)、点滅(データ転送中)します。
- **SPEEDランプ**：接続速度によって、消灯(10BASE-T)または点灯(100BASE-TX)します。

## ③ SETUPポート

「設定・管理ページ」で設定を行う際に、パソコンとLANケーブルで接続します。SETUPポートの上部には、LINKランプ(左側)とSPEEDランプ(右側)があります。動作については、LANポートのランプと同様です。

## ④ CONSOLEポート

パスワードを忘れてしまった場合に、パソコンのRS-232C端子(シリアルコネクタ)と接続します。詳しくは、「パスワードを忘れてしまった場合は」(84ページ)をご覧ください。

## ⑤ POWERスイッチ

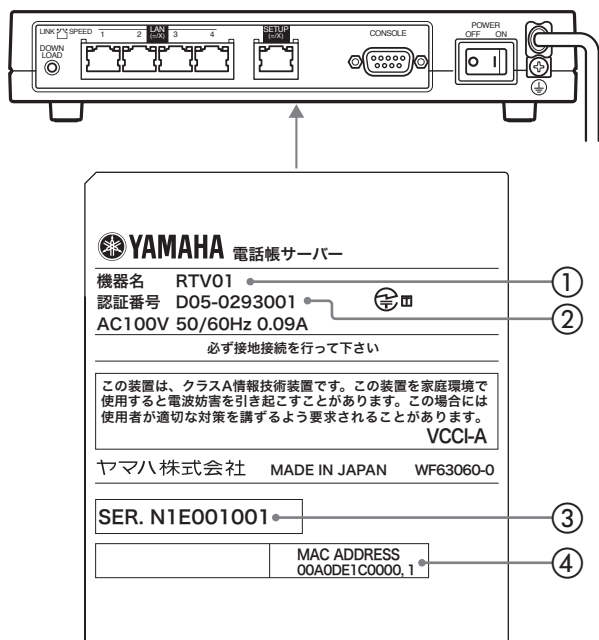
本機の電源を入/切します。

## ⑥ 電源コード

## ⑦ アース端子

アースコードを接続します。必ず接続してください。

# 底面



## ① 機器名

本機の機器名が記載されています。

## ② 認証番号

本機の認証番号が記載されています。

## ③ シリアル番号

製品を管理／区分するための製造番号です。

## ④ MACアドレス

LANポートとSETUPポートそれぞれに付与されている機器固有のネットワーク識別番号が記載されています。「00A0DE1C0000, 1」という上図の例の場合、LANポートとSETUPポートのMACアドレスはそれぞれ以下ようになります。

- LANポートのMACアドレス：00A0DE1C0000
- SETUPポートのMACアドレス：00A0DE1C0001



# 準備の流れ

本機を利用するには、以下の順序で準備を行う必要があります。

## ネットワーク接続設定に必要な準備を行う

### 準備 1

本機にパソコンや回線を接続して、電源を入れる

▶ 19 ページ



### 準備 2

「設定・管理ページ」を開く

▶ 21 ページ



### 準備 3

本機のパスワードを設定する

▶ 24 ページ



### 準備 4

本機の日付・時刻を合わせる

▶ 26 ページ



### 準備 5

基本的なネットワーク設定を登録する

▶ 28 ページ



## 会議に必要な設定を行う

拠点情報の設定やプロジェクトフォンの登録などを行います。詳しくは、「設定の流れ」をご覧ください。

▶ 36 ページ

# 準備を始める前にご用意ください

## アースコード

アースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。

## LANケーブル

パソコンの台数や距離に合わせて、10BASE-Tまたは100BASE-TX対応のLANケーブルをご用意ください。

## HUB

本機のLANポートには、パソコンを4台まで直接接続できます。5台以上のパソコンを接続したい場合は、10BASE-Tまたは100BASE-TX対応のHUB（またはスイッチングHUBなど）をご用意ください。

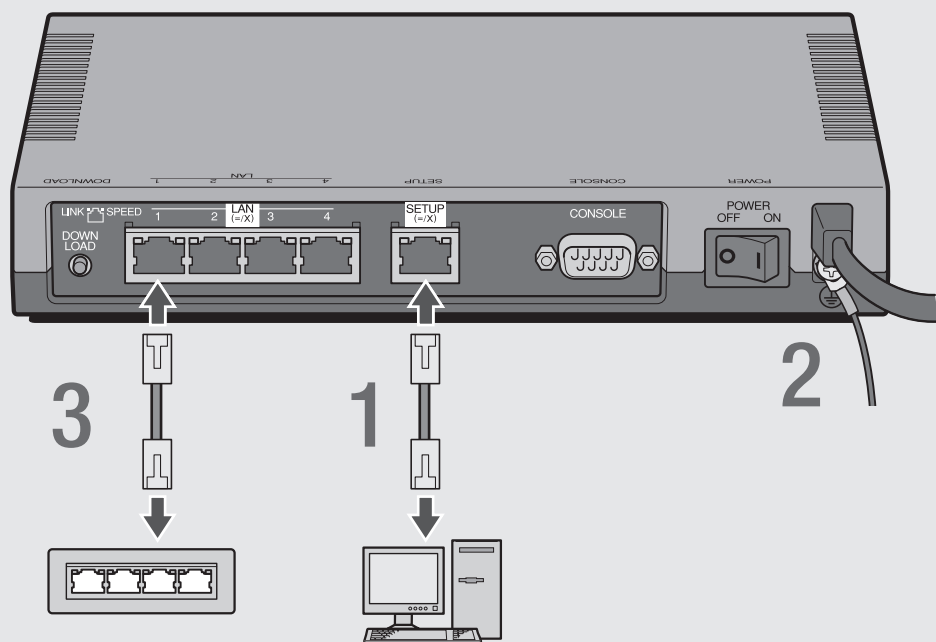
## 本機を設置するネットワークの情報

本機を導入・設置するために、以下の情報をあらかじめ入手・決定しておいてください。

- 本機に設定する管理パスワード
- 本機のLAN側に設定するIPアドレス
- LAN側のデフォルトゲートウェイおよびDNSサーバーのIPアドレス
- 10.0.0.1/24のネットワークを使用していないこと(使用している場合、SETUPポートのIPアドレスを変更する必要があります)。

## 準備 1

# 接続する



1

パソコンのLANポートと本機のSETUPポートを、LANケーブルで接続する。

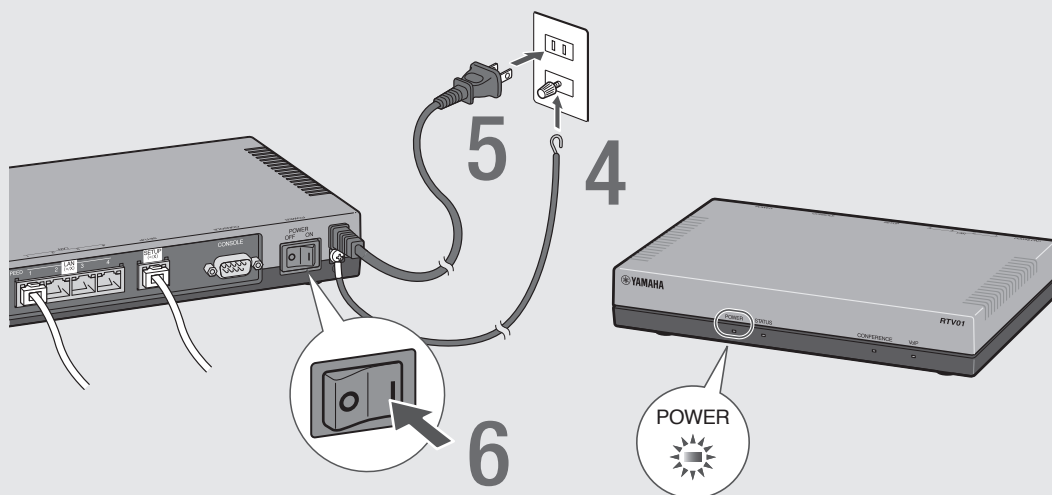
2

アース端子のネジを+ドライバで少しゆるめてから、アースコードをアース端子に接続して固定する。

アースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。

3

ルーターまたはHUBと本機のLANポートを、LANケーブルで接続する。



4

アースコードをコンセントのアース端子へ接続する。

**ご注意**

アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには、絶対に接続しないでください。

5

本機の電源コードをコンセントに接続する。

**電源コードを取りはずす場合は**

先に電源コードを取りはずしてから、アースコードを取りはずしてください。

6

本機のPOWER（電源）スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

すべてのランプが10秒間点灯した後、POWERランプが点灯します。

7

パソコンやHUBの電源を入れる。

## 準備 2

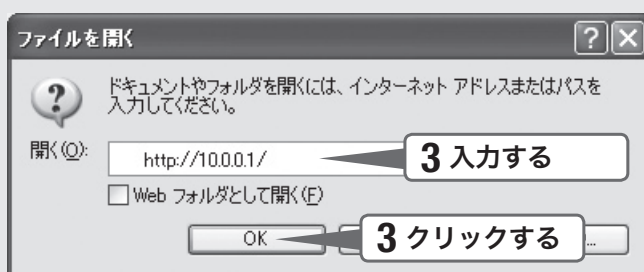
# 「設定・管理ページ」を開く

本機の設定の変更は、本機に接続したパソコンのWebブラウザから本機の「設定・管理ページ」を開いて行います。

「設定・管理ページ」を開くには、以下の手順で操作します。

### ご注意

「設定・管理ページ」を使用するには、Windows版Internet Explorer 6.0以降のWebブラウザが必要です。



1

本機の電源が入っていることを確認する。

2

パソコンでWebブラウザを起動して、「ファイル」メニューから「開く」を選ぶ。

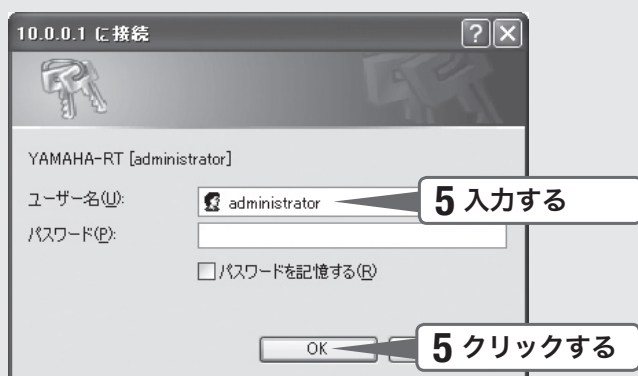
3

「http://10.0.0.1/」と半角英数字で入力してから、「OK」をクリックする。

「設定・管理ページ」ユーザー用メイン画面が表示されます。

④ 「設定・管理ページ」ユーザー用メイン画面が表示されないときは

「Q2：『設定・管理ページ』で設定できない」(75ページ)をご覧ください。



4

「管理者用のページへ」をクリックする。

「10.0.0.1 に接続」画面が表示されます。

5

「ユーザー名」欄に「administrator」と半角英字で入力してから、  
「OK」をクリックする。

「パスワード」欄には、何も入力する必要はありません。

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面が表示されます。

## パスワードを設定する

初期状態では本機にパスワードが設定されていません。セキュリティ対策を行う上でも、パスワードを設定することをおすすめします。パスワードを設定すると、本機にアクセスする際にパスワード入力が必要となるので、第三者が本機の設定を変更することが困難になります。

準備する

**基本設定** ?

- SIPドメインの設定
 

ドメイン名	
設定してください	<input type="button" value="変更"/>
- ログインユーザーの設定
 

ユーザー名	パスワード		
administrator	設定してください	<input type="button" value="変更"/>	
無名ユーザー	未設定	<input type="button" value="変更"/>	

**2 クリックする**

**1 クリックする**
- 時計の設定
 

時計の設定	タイムゾーン	NTPサーバー
RTV01に設定している日時		

**ログインユーザーの設定** ?

ユーザー名	パスワード
administrator	新パスワード: ..... 確認用: ..... (確認用)

**3 入力する**

**4 クリックする**

適用



1

「設定・管理ページ」ユーザー用メイン画面で、「基本設定」をクリックする。

「基本設定」画面が表示されます。

2

「ログインユーザーの設定」-「administrator」欄の「変更」をクリックする。

「ログインユーザーの設定」画面が表示されます。

3

「パスワード」欄に本機のパスワードを入力する。

入力したパスワードの文字は、●で表示されます。

4

「適用」をクリックする。

設定したパスワードが有効になり、確認画面が表示されます。

5

「メイン画面に戻る」をクリックする。

「10.0.0.1に接続」画面が表示されます。

6

「ユーザー名」欄に「administrator」、「パスワード」欄に手順3で入力したパスワードを半角英数字で入力してから、「OK」をクリックする。

「基本設定」画面に戻ります。

## 準備 4

# 日付・時刻を合わせる

「時計の設定」画面で、本機の日付と時刻を合わせます。

準備する

拠点情報 拠点設定 通話状況 通話履歴 障害履歴  IP設定 <b>基本設定</b> メール通知  システム情報 保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>ログインユーザーの設定           <table border="1"> <thead> <tr> <th>ユーザー名</th> <th>パスワード</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>administrator</td> <td>設定済</td> <td>変更</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無名ユーザー</td> <td>未設定</td> <td>変更</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>追加</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>時計の設定           <table border="1"> <thead> <tr> <th>RTV01に設定している日時</th> <th>タイムゾーン</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2007/10/01 10:26:50</td> <td>+00:00</td> <td>未設定</td> <td>変更</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>	ユーザー名	パスワード			administrator	設定済	変更		無名ユーザー	未設定	変更					追加	RTV01に設定している日時	タイムゾーン			2007/10/01 10:26:50	+00:00	未設定	変更
ユーザー名	パスワード																								
administrator	設定済	変更																							
無名ユーザー	未設定	変更																							
			追加																						
RTV01に設定している日時	タイムゾーン																								
2007/10/01 10:26:50	+00:00	未設定	変更																						

http://10.0.0.1 - RTV01 / 基本設定 / 時計の設定 - Microsoft Internet E...

### 時計の設定

RTV01に設定している日時	<input checked="" type="radio"/> 変更する 2007 年 10 月 1 日 10 時 30 分 15 秒 <input type="radio"/> 変更しない
タイムゾーン	+09:00 <input type="checkbox"/> 夏時間の調整をする <input type="radio"/> 自動的に調整する <input type="radio"/> 期間を指定する(日付指定) 開始 月 日 時 終了 月 日 時 <input type="radio"/> 期間を指定する(曜日指定) 開始 月 日 曜日 時 終了 月 日 曜日 時
NTPサーバー	<input type="radio"/> NTPサーバー に対し、以下の頻度で 時 分に問い合わせを行う <input type="radio"/> 毎月 日 <input type="radio"/> 毎週 日 曜日 <input type="radio"/> 毎日 <input checked="" type="radio"/> NTPを使用しない

適用

1

「基本設定」画面で、「時計の設定」欄の「変更」をクリックする。

「時計の設定」画面が表示されます。

2

「RTV01 に設定している日時」欄で、「変更する」をクリックして選ぶ。

3

日付と時刻を入力する。



ヒント

あらかじめ少し先の時刻を入力しておき、時報と同時に「適用」ボタンをクリックするとより正確に時刻合わせできます。

4

「タイムゾーン」欄で、本機の設置場所のタイムゾーンを指定する。

日本国内に設置する場合は、「+9:00」を選びます。

5

「適用」をクリックする。

確認画面が表示されます。

6

「メイン画面に戻る」をクリックする。

「基本設定」画面に戻ります。

### 夏時間を導入している地域に本機を設置する場合は

「夏時間の調整をする」をクリックしてチェックを付けてから、夏時間の開始日時と終了日時を指定します。詳しくは、「時計の設定」の画面のヘルプをご覧ください。

### 本機の時刻を自動的に合わせたいときは

インターネット上のNTPサーバー（時刻配信サーバー）を利用して、本機の時刻を自動的に合わせることができます。

詳しくは、「時計の設定」画面のヘルプをご覧ください。

#### ご注意

本機を設置したLANのセキュリティ設定によっては、NTPサーバーを利用して時刻を合わせられない場合があります。外部のNTPサーバーを利用する場合は、ルーターなどの設定を変更してください。詳しくは、お使いのルーターなどの取扱説明書をご覧ください。

## ネットワーク設定を登録する

### 1. 本機のLANポートのIPアドレスを指定する

本機を設置するLANの環境にあわせて、本機にIPアドレスとネットマスクを設定します。

#### ご注意

- 初期状態では、LANポートには「192.168.100.101/24」が割り当てられています。本機には、LAN内にすでに設置されている他の機器のIPアドレスと重複しないIPアドレスを設定してください。
- 初期状態では、SETUPポートには「10.0.0.1/24」が割り当てられています。LANポートに接続するネットワークですでに同じネットワークアドレスを使用している場合は、SETUPポートのIPアドレスを変更する必要があります。

- 1 「設定・管理ページ」の「IP設定」をクリックする。  
「IP設定」画面が表示されます。
- 2 「LANポートの設定」欄の「変更」をクリックする。  
「LANポートの設定」画面が表示されます。
- 3 「指定する」をクリックして選ぶ。
- 4 本機のIPアドレスを入力する。
- 5 「適用」をクリックする。  
確認画面が表示されます。
- 6 「メイン画面に戻る」をクリックする。  
「IP設定」画面に戻ります。

## 2. デフォルトゲートウェイを指定する

本機が利用するデフォルトゲートウェイを指定します。

準備する

RTV01 ProjectPhone

IPアドレス: 192.168.100.101 ログイン: administrator

### IP設定 ?

トップページ

会議状況

会議予約

会議履歴

拠点情報

拠点設定

通話状況

通話履歴

障害履歴

**IP設定**

基本設定

メール通知

システム情報

- LANポートの設定

IPアドレス	
192.168.100.101/24	<input type="button" value="変更"/>
- SETUPポートの設定

IPアドレス	
10.0.0.1/24	
DHCPサーバーの使用	DHCPで配布するIPアドレスの範囲
する	10.0.0.2~10.0.0.9
- デフォルトゲートウェイの設定

IPアドレス	
設定してください	<input type="button" value="変更"/>

**1 クリックする**

デフォルトゲートウェイの設定

**2 クリックする**

IPアドレス

☒ 指定する

☐ 指定しない

192.168.100.1

**3 入力する**

**4 クリックする**

- 1 「IP設定」画面で、「デフォルトゲートウェイの設定」欄の「変更」をクリックする。  
「デフォルトゲートウェイの設定」画面が表示されます。
- 2 「指定する」をクリックして選ぶ。
- 3 デフォルトゲートウェイを入力する。
- 4 「適用」をクリックする。  
確認画面が表示されます。
- 5 「メイン画面に戻る」をクリックする。  
「IP設定」画面に戻ります。

# 3.DNSサーバーを指定する

本機が利用するDNSサーバーを指定します。DNSサーバーは最大で4つまで指定できます。

準備する

RTV01 ProjectPhone

IPアドレス: 192.168.100.101 ログイン: administrator

IP設定 ?

- LANポートの設定

IPアドレス	
192.168.100.101/24	変更
- SETUPポートの設定

IPアドレス	
10.0.0.1/24	
DHCPサーバーの使用	DHCPで配布するIPアドレスの範囲
する	10.0.0.2~10.0.0.9
- デフォルトゲートウェイの設定

IPアドレス	
192.168.100.1	変更
- DNSサーバーの設定

IPアドレス		
未設定		

1 クリックする 追加



http://10.0.0.1 - RTV01 / IP設定 / DNSサーバーの設定 - Microsoft Intern...

DNSサーバーの設定 ?

2 入力する

IPアドレス 192.168.100.1

適用 3 クリックする



- 1 「IP設定」画面で、「DNSサーバーの設定」欄の「追加」をクリックする。  
「DNSサーバーの設定」画面が表示されます。
- 2 「IPアドレス」欄に、DNSサーバーのIPアドレスを入力する。
- 3 「適用」をクリックする。  
確認画面が表示されます。
- 4 「メイン画面に戻る」をクリックする。  
「IP設定」画面に戻ります。

## 4.IPキープアライブ確認用IPアドレスを指定する

必要に応じて、本機のIPキープアライブを有効にするための設定を行います。ここで指定したIPアドレスに対して、一定時間ごとにICMP Echoを送信して応答を受信確認し、ネットワークの障害を検出します。ネットワーク障害を検出すると、本機前面のSTATUSランプが点灯します。

### 💡 ヒント

障害発生通知メールを送信するように設定することもできます(70ページ)。

IP設定	
基本設定	
メール通知	
システム情報	
保守	
ユーザー用のページへ	

日本語 (ja) ▼

- デフォルトゲートウェイの設定

IPアドレス	
192.168.100.1	変更
- DNSサーバーの設定

IPアドレス		
192.168.100.1	変更	削除
		追加
- IPキープアライブの設定

送出先IPアドレス	送信間隔	送信回数	
	未設定		
			1 クリックする 追加

http://10.0.0.1 - RTV01 / IP設定 / IPキープアライブの設定 - Microsoft Int...

### IPキープアライブの設定

送出先IPアドレス	192.168.100.2	2 入力する
送信間隔	60 秒 (1~65535)	3 指定する
送信回数	10 回 (3~100)	

適用 4 クリックする

1

「IP設定」画面で、「IPキープアライブの設定」欄の「追加」をクリックする。

「IPキープアライブの設定」画面が表示されます。

2

「送出先IPアドレス」欄に、ICMP Echoの送信先IPアドレスを入力する。

デフォルトゲートウェイのIPアドレスなど、IPキープアライブの対象となる接続先の機器のIPアドレスを指定します。

3

必要に応じて、「送信間隔」欄と「送信回数」欄で、パケット送出間隔と回数を指定する。

**送信間隔**

ICMP Echoの送信間隔を秒単位で指定します。指定した時間内に応答(ICMP Echo Reply)を受信できれば「成功」、できなければ「失敗」とします。

**送信回数**

ICMP Echoの送信回数を指定します。指定した回数だけ送信してICMP Echo Replyを一度も受信できなかった場合は、指定したIPアドレスに対する到達性がなくなったとみなされます。

4

「適用」をクリックする。

確認画面が表示されます。

5

「メイン画面に戻る」をクリックする。

「IP設定」画面に戻ります。

# 設定の流れ

本機を利用するには、引き続き以下の順序で設定を行う必要があります。

## 各機器の設定を変更する

### 設定 1

SIPドメイン名を設定する(本機)

▶38ページ



### 設定 2

拠点情報を設定する(本機)

▶40ページ



### 設定 3

プロジェクトフォンの設定を変更する

▶48ページ



### 設定 4

設定を確認する

▶53ページ

# 設定を始める前にご用意ください

## 拠点の設定情報

以下の情報を拠点ごとにまとめておくと、設定時に作業がしやすくなります。

- 拠点の名称
- 拠点に割り当てる番号(拠点番号)
- 認証を行うかどうか
- 認証を行う場合のパスワード

## 本機の設定情報

拠点に設置するプロジェクトフォン設定時に必要となります。

- 本機のIPアドレス(28ページ)
- 本機に設定するSIPドメイン名(38ページ)

## 拠点番号の制限について

拠点側の端末でPJP-50Rで「0」をPSTN発信用のプレフィックスとして設定している場合は、「01」や「0050」のように拠点番号の先頭に「0」を使用することはできません。詳しくは、PJP-50Rの取扱説明書をご覧ください。

## 設定 1

# SIPドメイン名を設定する

本機のSIPドメイン名を指定します。SIPドメイン名は、拠点側のプロジェクトフォンが本機に接続するためのグループ識別子です。

会議に必要な設定を行う

1

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「基本設定」をクリックする。

「基本設定」画面が表示されます。

2

「SIPドメインの設定」欄の「変更」をクリックする。

「SIPドメインの設定」画面が表示されます。

3

「指定する」をクリックする。

4

SIPドメイン名を入力する。

SIPドメイン名は、拠点側のプロジェクトフォンが本機に接続するためのグループ識別子として機能します。拠点側のプロジェクトフォンにSIPアドレスを設定する際は(50ページ)、ここで指定したSIPドメイン名を使用してください。



**ヒント**

SIPドメイン名はDNSによる名前解決は行われませんので、「PJP-NETWORK」などの任意の名称を設定できます。

5

「適用」をクリックする。

確認画面が表示されます。

6

「メイン画面に戻る」をクリックする。

「基本設定」画面に戻ります。

## 設定 2

# 拠点情報を設定する

「拠点設定」画面で、拠点情報を1つずつ設定します(最大500拠点)。

### 💡 ヒント

- 拠点の設定情報ファイル(CSV形式)をダウンロードしてから、パソコン上でMicrosoft Excelなどの表計算ソフトウェアで拠点情報をまとめて編集し、本機に設定することもできます(42ページ)。
- 拠点の登録後に、拠点グループを登録することもできます。会議の種類に合わせて複数の拠点を拠点グループとして登録しておくと、会議予約を登録する際に参加拠点の漏れなどのミスを防止でき、便利です。

会議に必要な設定を行う

拠点設定 ?

• 拠点グループの設定

拠点グループ名称

設定されていません

追加

1 クリックする

• 拠点の設定

拠点名称

拠点番号

設定してください

追加

2 クリックする

http://10.0.0.1 - RTV01 / 拠点設定 / 拠点の設定 - Microsoft Internet E...

拠点の設定 ?

拠点名称

東京本社

3 指定する

拠点番号

1

4 指定する

端末種別

プロジェクトフォン

5 指定する

認証タイプ

☒ ダイジェスト認証 (パスワード) ..... 6 指定する

☐ 認証なし

適用 7 クリックする



1

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「拠点設定」をクリックする。

「拠点設定」画面が表示されます。

2

「拠点の設定」欄の「追加」をクリックする。

「拠点の設定」画面が表示されます。

3

「拠点番号」欄で、拠点番号を指定する(最大32桁)。

**ご注意**

全拠点で拠点番号の桁数を揃える必要はありません。

4

必要に応じて、「拠点名称」欄で拠点の名称を指定する。

「拠点情報」画面などに表示される拠点の名称を、全角16文字(半角英数字32文字)までで入力します(省略できます)。

**ご注意**

拠点名称に「&」「=」「+」「%」は使用できません。

5

「端末種別」欄で、「プロジェクトフォン」を指定する。

**ご注意**

「プロジェクトフォン以外のSIP端末」は将来の拡張用です。

6

「認証タイプ」欄で、拠点からの要求に対して認証を行うかどうかを指定する。

- **ダイジェスト認証**: ダイジェスト認証を行います。パスワードも設定してください。
- **認証なし**: 認証を行いません。

**ご注意**

- 設定するパスワードは、本機のパスワード(24ページ)とは異なります。
- 拠点ごとに異なるパスワードを設定できます。
- パスワードに「&」「=」「+」「%」は使用できません。

7

「適用」をクリックする。

設定した拠点情報が設定され、確認画面が表示されます。

8

拠点情報を続けて設定したい場合は、「さらに拠点を追加する」をクリックしてから、手順3～7を繰り返す。

9

拠点情報の設定がすべて終わったら、「メイン画面に戻る」をクリックする。

# CSVファイルを使用して拠点をまとめて設定する

## 1. 拠点情報ファイルを出力する

ひな形のCSVファイルをダウンロードしてから、Microsoft Excelなどの表計算ソフトウェアを使用して拠点情報をまとめて設定します。後から追加設定を行う場合など、「設定・管理ページ」を使って拠点情報を1つずつ設定したい場合は、40ページをご覧ください。

会議に必要な設定を行う

RTV01 ProjectPhone

IPアドレス: 192.168.100.101 ログイン: administrator

拠点設定 ?

- 拠点グループの設定

拠点グループ名称
設定されていません

1 クリックする 追加

- 拠点の設定

拠点名称	拠点番号
設定してください	

追加

- 拠点設定の一括操作

操作	
CSVファイルから読み込む	実行
CSVファイルへ出力	実行
拠点グループ設定を全て削除	実行
拠点設定を全て削除	実行

2 クリックする

http://10.0.0.1 - RTV01 / 拠点設定 / 拠点設定をCSVファイルへ出力 - Micr...

拠点設定をCSVファイルへ出力 ?

拠点設定をCSVファイルへ出力します。  
下のリンクを右クリックし、メニューから「対象をファイルに保存」を選択して保存してください。

拠点設定CSVファイル 3 クリックする

5 クリックする メイン画面に戻る

1

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「拠点設定」をクリックする。

「拠点設定」画面が表示されます。

2

「拠点設定の一括操作」-「CSVファイルへ出力」欄の「実行」をクリックする。

「拠点設定をCSVファイルへ出力」画面が表示されます。

3

「拠点設定CSVファイル」を右クリックして、「対象をファイルに保存」をクリックする。

4

ファイル名とファイルの保存場所を指定して、CSVファイルを保存する。

5

「メイン画面に戻る」をクリックする。

「拠点設定」画面に戻ります。

## 2. 拠点情報を入力する

Microsoft Excelなどの表計算ソフトウェアを使用して、設定したい拠点情報をダウンロードしたCSV形式のファイルにすべて入力します。なお、設定できる拠点数は最大500件までです。

A1	# 作成日: 2007/08/26 08:08:34 +09:00													
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
1	#	作成日	2007/08/26	08:08:34	+09:00									
2	#													
3	#	【拠点グループ設定】												
4	#	ID	拠点グループ	拠点番号										
5	#													
6	#	【拠点設定】												
7	#	拠点番号	拠点名称	端末種別	認証	パスワード								
8	"1"	東京本社	pjp			password								
9	"2"	大阪本社	pjp			password								
10	"3"	札幌支社	pjp			password								
11	"4"	福岡支社	pjp			password								
12	#													
13	#	認証	= 'digest' または 'none' ('digest'は省略可能)											
14	#	「#」で始まる行はコメント行ですので、実際の登録情報は「#」を付けないでください。												
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														

データ入力時のご注意

以下のルールにご注意ください。

**1. 拠点番号は、番号の前後をダブルクォーテーション" "で囲んでください**

Microsoft Excelはファイル読み込みの際に数値データ先頭の0を削除してしまうため(例:「0010」→「10」)、0で始まる拠点番号を使う際に不都合が生じます。

×「0166」   ○「"0166"」

**💡 ヒント**

0以外で始まる拠点番号の場合は、ダブルクォーテーションで囲む必要はありません。

### データ入力時のご注意

以下のルールにご注意ください。

#### 1. 拠点番号は、番号の前後をダブルクォーテーション「"」で囲んでください

Microsoft Excelはファイル読み込みの際に数値データ先頭の0を削除してしまうため(例:「0010」→「10」、0で始まる拠点番号を使う際に不都合が生じます。

×「0166」 ○「"0166"」

#### 💡 ヒント

0以外で始まる拠点番号の場合は、ダブルクォーテーションで囲む必要はありません。ただし、本機からCSV形式のファイルとして出力すると、常に番号がダブルクォーテーションで囲まれて出力されます。

#### 📌 ご注意

- 拠点側の端末にPJP-50Rを含む場合は、拠点番号の先頭にご注意ください(37ページ)。
- 「設定・管理ページ」から設定する際は、ダブルクォーテーションで囲まないでください。

#### 2. 空白の扱い

- 文字データの前後に空白があっても、データと見なされません。
- ダブルクォーテーション「"」中の空白はデータと見なされます。
- カンマ・空白以外の文字に囲まれた空白はデータと見なされます。

「 " 名古屋営業所 " 」 → 「" 名古屋営業所 "」

「 名古屋 営業所 」 → 「"名古屋 営業所"」

#### 3. シングルクォーテーション「'」、ダブルクォーテーション「"」、カンマ「,」の扱い

データ項目中に、文字データとして使用できます。

○「札幌'営業所」 ○「浜松"営業所」 ○「大阪,営業所」

#### 4. シャープ「#」(半角)で始まる行はコメント行と見なされます

#### 5. 漢字コード／改行コードについて

CSVファイルはWindows上で作成・編集されることを想定しており、漢字コードはシフトJIS、改行コードはCR+LFのみの対応となります。

## 1

**「1. 拠点情報ファイルを出力する」(42ページ)で保存したCSVファイルを、Microsoft Excelなどで開く。**

CSV形式に対応しているソフトウェアであれば、他の表計算ソフトウェアやテキストエディタで編集することもできます。

## 2

**設定したい拠点情報を入力して、保存する。**

以下の説明中の「A」～「E」列は、CSVファイルをMicrosoft Excelで開いた場合の例(前ページ)です。

**「A」列：拠点番号**

「A」列に拠点の拠点番号を入力します(最大32桁)。

**ご注意**

- 「拠点番号の制限について」(37ページ)もあわせてご覧ください。
- 全拠点で拠点番号の桁数を揃える必要はありません。

**「B」列：拠点名称**

「拠点情報」画面などに表示される、拠点の名称を入力します(最大32文字、省略できます)。

**ご注意**

拠点名称に「&」「=」「+」「%」は使用できません。

**「C」列：端末種別**

拠点到設置する端末の種類を入力します。

- **pjp**：プロジェクトフォンを設置します。
- **non-pjp**：将来の拡張用です。

**「D」列：認証**

本機が拠点からの要求に対して認証を行うかどうかを指定します。

- (空欄)：ダイジェスト認証を行います。「E」列にパスワードを入力してください。
- **none**：認証を行いません。

**「E」列：パスワード**

ダイジェスト認証を行う場合(「D」列が空欄の場合)は、パスワードを入力します。

**ご注意**

パスワードに「&」「=」「+」「%」は使用できません。

### 3. 拠点情報ファイルをアップロードする

拠点情報を入力したCSVファイルを本機にアップロードして、拠点情報をまとめて設定します。

#### ご注意

- CSVファイルをアップロードすると、現在の拠点情報データはすべて削除されてしまいますのでご注意ください。
- アップロードするファイルの名称は、「&」を含まないものにしてください。

RTV01

ProjectPhone

IPアドレス: 192.168.100.101 ログイン: administrator

拠点設定 ?

• 拠点グループの設定

拠点グループ名称
設定されていません

追加

1 クリックする

• 拠点の設定

拠点名称	拠点番号
設定してください	

追加

• 拠点設定の一括操作

操作	
CSVファイルから入力	実行
CSVファイルへ出力	実行
拠点グループ設定を全て削除	実行
拠点設定を全て削除	実行

2 クリックする

http://10.0.0.1 - RTV01 / 拠点設定 / 拠点設定をCSVファイルから入力 - Mi...

拠点設定をCSVファイルから入力 ?

拠点設定をCSVファイルから入力します。  
ファイルを選択して「アップロード」をクリックして下さい。  
既存の設定は全て削除されますのでご注意下さい。

ファイル:  参照...

アップロード

3 クリックする

5 クリックする

1

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「拠点設定」をクリックする。

「拠点設定」画面が表示されます。

2

「拠点設定の一括操作」-「CSVファイルから入力」欄の「実行」をクリックする。

「拠点設定をCSVファイルから入力」画面が表示されます。

3

「参照」をクリックする。

「ファイルの選択」画面が表示されます。

4

「2. 拠点情報を入力する」(44ページ)で編集したファイルを選んでから、「開く」をクリックする。

5

「アップロード」をクリックする。

手順4で選んだファイルが拠点情報設定用のファイルとして読み込まれます。

6

「メイン画面に戻る」をクリックする。

「拠点設定」画面に戻ります。

これで拠点情報の設定は終了です。

7

CSVファイルに記述した拠点設定が、「拠点の設定」欄に正しく反映されているかどうか確認する。

正しく反映されていれば、拠点情報の設定は終了です。「設定3：プロジェクトフォンの設定を変更する」(48ページ)に進んでください。

**表示された拠点の情報が不適切な場合は**

CSVファイルの記述内容が不適切な場合、拠点情報の設定が正しく行われません。

CSVファイルの編集をやり直して、再アップロードしてください。

## 設定 3

# プロジェクトフォンの設定を変更する

RTV01側での拠点情報の設定が終わったら、RTV01を経由して会議に参加するための設定をプロジェクトフォン側で行います。

## 設定の流れ

プロジェクトフォン側での設定の流れは、以下の通りです。

### 1. IPアドレスを設定する(49ページ)

プロジェクトフォンが使用するIPアドレスとネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

### 2. SIPサーバーの情報を登録する(50ページ)

RTV01をSIPサーバーとして参照できるように、拠点に設置されているプロジェクトフォンの設定を変更します。

### 3. RTV01からのリモート制御を有効にする(52ページ)

会議の開催時にRTV01から送られてくる制御信号をプロジェクトフォンが受け付けるように、設定を変更します。

#### ご注意

- 以下の操作を行う前に、プロジェクトフォン側でネットワークへの接続設定を行う必要があります。詳しくは、プロジェクトフォンの設定マニュアルをご覧ください。
- 以下の説明では、例としてプロジェクトフォンPJP-100Hの設定を示しています。

### 拠点側でPJP-50Rを使用する場合のご注意

相手側の拠点を直接プロジェクトフォンで発信して呼び出す場合は、PJP-50R側のプレフィックス設定に注意が必要です。

- PJP-50Rでは、発信の際に使用するネットワーク(回線)を種別するために、プレフィックスを使用しています。発信方法は「IP内線用プレフィックス+拠点番号」となるため、IP内線用のプレフィックスを「なし」に設定すると、拠点番号だけで発信できます。
- ただし、拠点番号の先頭が他の回線用のプレフィックスと同じ番号となる場合(例：プレフィックス「0」、拠点番号「0010」の場合)は、正しい拠点に発信するためにPJP-50R側のプレフィックス設定を変更する必要があります。詳しくは、PJP-50Rの取扱説明書をご覧ください。



# 1.IPアドレスを設定する

プロジェクトフォン本体のキーを使用して、プロジェクトフォンが使用するIPアドレスとネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。設定方法について詳しくは、プロジェクトフォンの取扱説明書「準備2：ネットワーク設定を登録する」(PJP-100H) または「準備2：設定を登録する」(PJP-50R)をご覧ください。



## ヒント

固定のIPアドレスを設定せずにDHCPサーバーを利用しても、会議の開催には問題ありません。

## 設定が終わったら

プロジェクトフォンの表示部で、設定内容および接続状況を確認できます。詳しくは、プロジェクトフォンの取扱説明書をご覧ください。

## 2. SIPサーバーの情報を登録する

RTV01をSIPサーバーとして参照できるように、拠点に設置されているプロジェクトフォンの設定を変更します。SIPドメインなどのRTV01側で設定した情報が必要になるため、あらかじめ必要な情報を手元に用意してから設定を行ってください。

会議に必要な設定を行う



  
PJP-100H

Serial No. / MACアドレス	/ 00:A0:DE:46:00:7D
IPアドレス / サブネットマスク	192.168.100.201 / 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ / DNSサーバー	192.168.100.1 / 192.168.100.1
プログラムバージョン	DT 1.33 2007.02.27 10:46:58

アドレス帳

アドレス帳の閲覧・編集

ネットワーク設定

DHCP	使用しない
IPアドレス	192.168.100.201
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.100.1
DNSサーバー	192.168.100.1
接続モード	メッシュ
NAT越え	使用しない
SIPサーバー	<b>3 クリックする</b>
SIPサーバー名	設定されていると表示されます
SIPアドレス	設定されていません

Setting Home > SIP

SIP

☐ 使用しない

☒ 使用する

4 クリックする

5 入力する

SIPサーバー名: 192.168.100.101

6 入力する

SIPサーバーのパスワード: .....

7 入力する

SIPアドレス: sip:1@PJP-NETWORK

設定 リセット

8 クリックする

了してから設定して下さい。

通話中(はこの状態で)

データベースの状態

更新できます

- 1 プロジェクトフォンに設定用のパソコンを接続する。
- 2 パソコンでWebブラウザを起動してから、アドレスバーに「http://（プロジェクトフォンのIPアドレス）」を入力する。  
プロジェクトフォンの「WEB設定ページ」が表示されます。
- 3 「SIPサーバー」をクリックする。  
「SIP」画面が表示されます。
- 4 「SIPサーバー」欄で「使用する」をクリックして選ぶ。
- 5 「SIPサーバー名」欄に、RTV01のIPアドレスを入力する。  
RTV01のLANポートに割り当てたIPアドレス(28ページ)を入力します。
- 6 「SIPサーバーのパスワード」欄に、認証のパスワードを入力する。  
RTV01の拠点設定で認証用のパスワードを設定している場合(41ページ)は、そのパスワードを入力します。「認証なし」に設定している場合は、パスワードは空欄のまま構いません。
- 7 「SIPアドレス」欄に、設定中のプロジェクトフォンのSIPアドレスを「sip:（拠点番号）@（RTV01のSIPドメイン名）」の形式で入力する。
  - 拠点番号：設定中のプロジェクトフォンを設置する拠点の拠点番号(41ページ)
  - SIPドメイン名：39ページで指定したドメイン名**SIPアドレスの入力例**  
プロジェクトフォンを配置する拠点の拠点番号が0010、SIPドメインがPJP-NETWORKの場合は、「sip:0010@PJP-NETWORK」となります。
- 8 「設定」をクリックする。  
プロジェクトフォンの表示部を確認して、RTV01と正しく通信できていることを確認してください。

### 3.RTV01からのリモート制御を有効にする

会議の開催時にRTV01から送られてくる制御信号をプロジェクトフォンが受け付けるように、設定を変更します。

#### ご注意

設定を変更しないと、予約した会議に参加できないなどの問題が発生します。必ずリモート制御を有効にしてください。

プロジェクトフォン本体のキー操作で、次のように設定します。

1

**初期画面で▼キーを押す。**

メニュー画面が表示されます。

2

**▲または▼キーを押して「設定」を選んでから、キーを押す。**


設定メニュー画面が表示されます。

3

**▲または▼キーを押して「環境設定」を選んでから、キーを押す。**

環境設定メニュー画面が表示されます。

4

**▲または▼キーを押して「リモート制御」を選んでから、キーを押す。**

リモート制御の設定画面が表示されます。

5

**▲または▼キーを押して「使用する」を選んでから、キーを押す。**

RTV01からのリモート制御が有効になります。

## 設定 4

# 設定を確認する

本機側とプロジェクトフォン側の設定が終わったら、拠点が正しく登録されているかどうか確認します。

RTV01 ProjectPhone  
IPアドレス: 192.168.100.101 ログイン: administrator

拠点情報

• 拠点情報

拠点名称	拠点番号	IPアドレス	状態
東京本社	1	192.168.100.201	登録済
大阪本社	2	192.168.100.202	登録済
札幌支社	3	192.168.100.203	登録済
福岡支社	4	192.168.100.204	登録済

**1** 「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「拠点情報」をクリックする。

「拠点情報」画面が表示されます。

**2** 「拠点情報」欄に、40ページで設定した拠点がすべて表示されていることを確認する。

**3** 「状態」欄が、すべて「登録済」になっていることを確認する。

「未登録」と表示された場合は

- 拠点のプロジェクトフォンがRTV01に対して登録されていません。拠点のプロジェクトフォンの設定、または本機の拠点設定の情報が間違っていないかどうか、38～52ページの設定内容をもう一度確認してください。
- 拠点のプロジェクトフォンの電源が入っているかどうか確認してください。
- 拠点のプロジェクトフォンが正常にネットワークに接続しているかどうか確認してください。

「エラー」と表示された場合は

「困ったときは」(72ページ)をご覧ください。

# 本機を利用した会議の概要

## 本機で開催できる会議

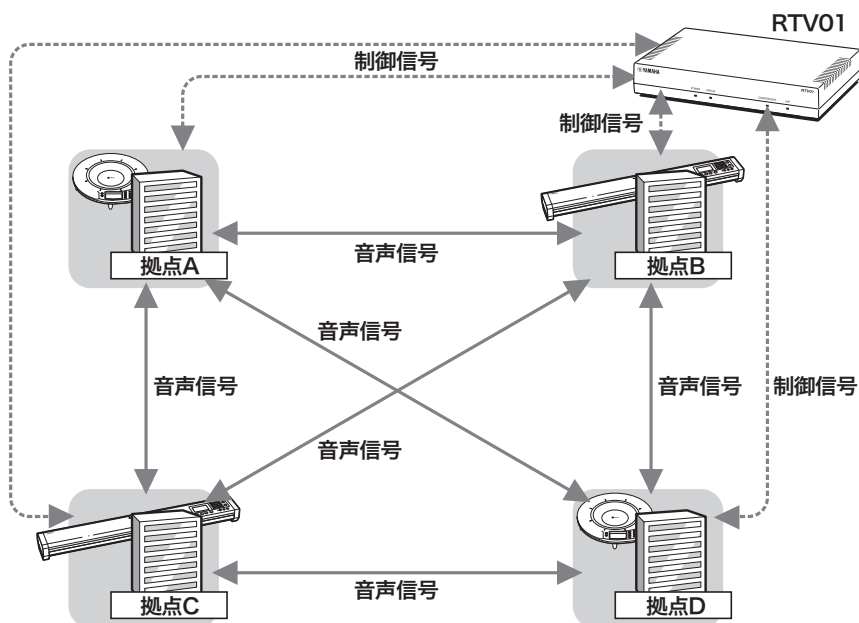
会議機能自体は、拠点端末(プロジェクトフォン)のミキシング機能を利用します。本機の役割は、会議の予約および参加拠点と会議リソースの管理、会議開催の際の会議ネットワークの自動構築となります。

接続確立した後の音声通信は、本機を経由せずに拠点の端末間で直接送受信されます。本機は、このような会議ネットワークを、同時8会議まで構築することができます。

### メッシュ型接続の構成

各拠点をメッシュ型で接続構成する会議です。

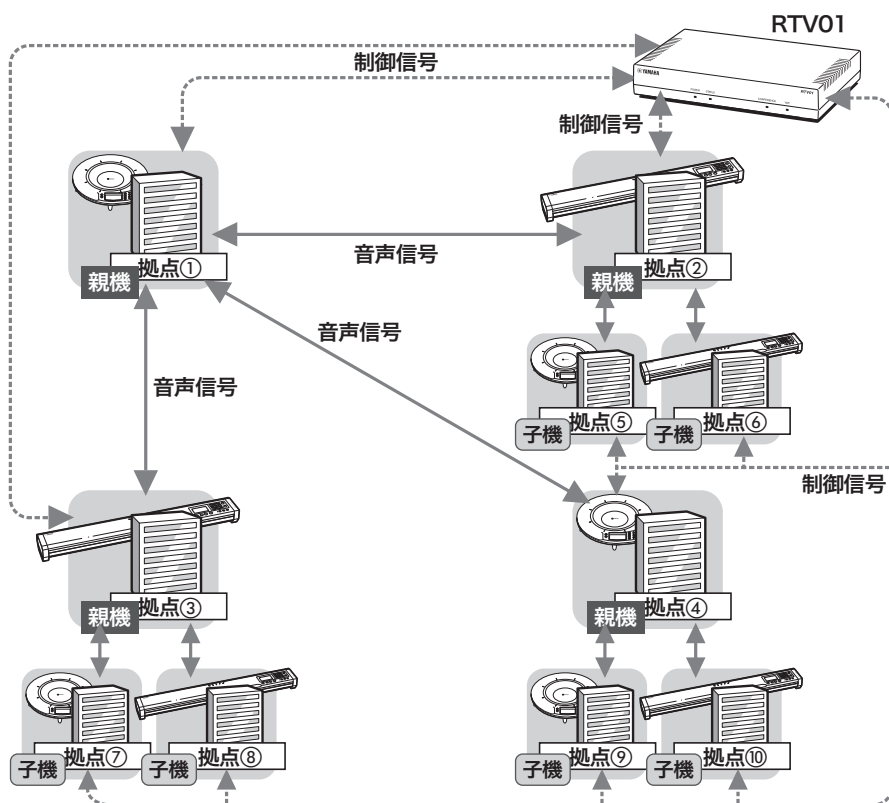
すべての拠点に対して別々の通信パスを張って通信し、最大4拠点まで接続できます。



## カスケード型接続の構成

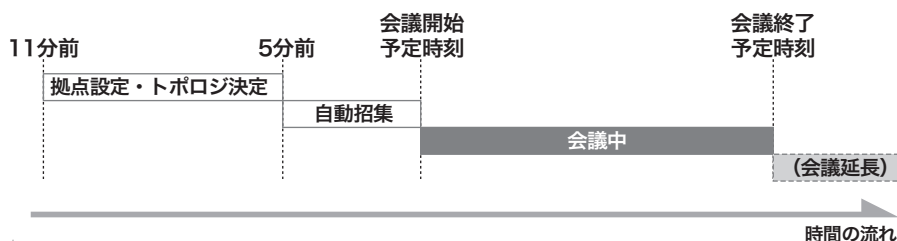
各拠点をカスケード型で接続構成する会議です。

最大10拠点まで接続できます。親機と子機の割り当てを含めた会議ネットワークの構成は、接続拠点数に応じて本機が自動的にを行います。



## 会議開催の流れ

- ・ 会議への参加拠点を指定して、開催時間を指定して会議予約を登録します。
- ・ 会議開催時刻になると本機が各拠点の端末を自動的に接続して、会議ネットワークを自動構築します。
- ・ 会議予約を行った場合、以下の流れで会議が行われます。



### ヒント

会議開始予定時刻を待たずに拠点を手動で招集して、会議を開催することもできます(65ページ)。ただしこの場合でも、参加拠点の登録を含めた会議の予約は必要になります。

# 会議の開催時間と参加拠点を登録する(会議予約)

会議を開催するにあたって、会議の日時、参加拠点の情報を、予約情報として本機に登録・設定する必要があります。

## 会議予約する

会議を開催する

トップページ ?

1 クリックする

2007/10

2 クリックする

• 開催中の会議 (2007/10/01 11:28:25 +09:00 現在 0 件)

会議名称	会議番号	会議日時	会議形態	監視
現在開催中の会議はありません				

• 開催予定の会議 (0 件)

会議名称	会議番号	会議日時	会議形態	会議予約
開催予定の会議はありません				

新規予約を追加する 3 クリックする 追加

http://10.0.0.1 - RTV01 / 会議予約の追加/変更 - Microsoft Internet Ex...

会議予約の追加/変更 ?

4 入力する

5 入力する

6 指定する

7 クリックする

会議名称: 定例営業会議

会議番号: 0001

会議日時: 2007 年 10 月 01 日 16:00 ~ 17:00

参加拠点: 拠点選択



1

「設定・管理ページ」の「トップページ」をクリックする。

「トップページ」画面が開きます。

トップページのカレンダー上で、本日の日付は赤枠で表示されています。

2

カレンダーで予約したい日付の数字をクリックする。

選択した日付が青枠(本日を選んだ場合は、紫枠)で表示されます。

別の月を選択するときは、カレンダー上部の三角アイコンをクリックして、予約したい日付の月の表示に切り換えます。

3

「開催予定の会議」欄の「追加」をクリックする。

「会議予約の追加/変更」画面が表示されます。

4

「会議名称」欄に、会議の名称を入力する。

全角64文字、半角英数字128文字までで入力します。

5

「会議番号」欄に、会議を識別するための会議番号を入力する(最大4桁)。

6

「会議日時」欄の「指定する」をクリックしてから、開催日時を入力する。

開催日を確認してから、開催時刻(15分単位)を入力します。



#### ヒント

- 繰り返しの会議を予約する場合は、「繰り返しの会議を予約する」(60ページ)をご覧ください。
- 会議日時を指定しないで会議予約を登録することもできます。ただし、この場合は手動で会議を始める必要があります(64ページ)。

7

「参加拠点」欄の「拠点選択」をクリックする。

「会議予約の追加/変更 / 拠点選択」画面が表示されます。

http://10.0.0.1 - RTV01 / 会議予約の追加/変更 / 拠点選択 - Microsoft ...

### 会議予約の追加/変更 / 拠点選択

参加グループ	設定されていません
参加拠点	<input checked="" type="checkbox"/> 東京本社 <input checked="" type="checkbox"/> 大阪本社 <input checked="" type="checkbox"/> 札幌支社 <input checked="" type="checkbox"/> 福岡支社
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

8 指定する

9 クリックする

参加拠点	<input checked="" type="checkbox"/> 東京本社 <input checked="" type="checkbox"/> 大阪本社 <input checked="" type="checkbox"/> 札幌支社 <input checked="" type="checkbox"/> 福岡支社
	<input type="button" value="拠点選択"/>
会議形態	最大 4 拠点(プロジェクトチームのみ) <input type="button" value="予約状況"/>
〈センター拠点〉	<input type="button" value="〈自動選択〉"/>
〈担当者〉	本社営業部: 田中
〈連絡先〉	03-1111-1001
〈メモ〉	営業成績報告
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

10 指定する

11 クリックする

12 指定する

13 入力する

14 クリックする

## 8

## 会議に参加する拠点をクリックして、チェックを付ける。

拠点グループを設定している場合は、参加グループの欄にグループ名称が表示されます。グループのチェックを付ける／外すことで、グループに登録されている拠点をまとめて参加登録／登録解除できます。

## 9

## 「適用」をクリックする。

「会議予約の追加/変更」画面に戻ります。

## 10

## 「会議形態」欄で、会議の形態を選ぶ。

参加拠点の数に応じて、会議の形態を選択します。

- **最大4拠点(プロジェクトフォンのみ)**：各拠点をメッシュ型で接続構成する会議です。
- **最大10拠点**：各拠点をカスケード型で接続構成する会議です。本機が接続拠点数に応じて親機と子機を割り当て、自動的に接続を構成します。

## 11

## 「予約状況」をクリックする。

「会議予約の追加/変更 / 予約状況」画面が表示されます。

指定した会議が開催可能かどうか、15分単位の図で確認できます。開催可能な時間帯は緑色で、不可能な時間帯は赤色で示されます。会議リソースや参加拠点の予定に問題があるために会議予約できない場合は、この画面で原因を確認して空き時間を検索できます。

## 12

## 必要に応じて、「センター拠点」欄で接続トポロジータ上で中心に位置する拠点を指定する(手順10で「最大10拠点」を選んだ場合のみ)。

センター拠点を指定すると、本機は指定拠点を中心としてトポロジータを決定します(省略できます)。

## 13

## 必要に応じて、「担当者」「連絡先」「メモ」欄に情報を入力する。

会議の付加情報を入力できます(省略できます)。

「担当者」および「連絡先」は最大12文字(半角英数字24文字)まで、「メモ」は最大64文字(半角英数字128文字)まで入力できます。

## 14

## 「適用」をクリックする。

会議が予約登録されます。

# 繰り返しの会議を予約する

週ごとの会議など、繰り返し開催する会議を半年後まで予約できます。

会議予約の追加／変更 / 繰り返し設定

会議日時 2007年10月01日 16:00～17:00

繰り返し

☒ 繰り返し  
毎月

終了日 2007 年 12 月 31 日  
除外する日 (YYYY/MM/DD, 5つまで)

適用

2 指定する

3 入力する

4 指定する

5 クリックする

会議を開催する

**1** 「会議予約の追加/変更」画面(56ページ)で、「繰り返し」をクリックする。

「会議予約の追加/変更 / 繰り返し設定」画面が表示されます。

**2** 「繰り返し」をクリックしてチェックを付けてから、繰り返しの間隔(毎日／毎週／毎月)を選ぶ。

**3** 「終了日」欄に、繰り返しの終了日を入力する。

終了日は、開催日から半年先まで入力できます。

**4** 必要に応じて、開始日から終了日の間で例外的に会議開催日から除外する日を指定する。

「YYYY/MM/DD」形式(例：2007/10/10)で、最大5日まで指定できます。

**ヒント**

除外する日が6日以上ある場合は、繰り返しの終了日を調整して、残りの予定日を別の会議予約として分けて登録するようにしてください。

**5** 「適用」をクリックする。

「会議予約の追加/変更」画面に戻ります。

繰り返しの設定内容は、「繰り返し」ボタンの右横に表示されます。

# 会議予約を削除する

会議の開催が取りやめになった場合は、会議予約を削除してください。

IP設定  
基本設定  
メール通知

システム情報  
保守

ユーザー用のページへ

- 開催中の会議 (2007/10/01 11:33:25 +09:00 現在 0 件)

会議名称	会議番号	会議日時	会議形態	監視
現在開催中の会議はありません				

- 開催予定の会議 (1 件)

会議名称	会議番号	会議日時	会議形態	会議予約
定例営業会議	0001	2007/10/01 16:00 ~ 17:00	MAX4	<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>

1 クリックする

http://10.0.0.1 - RTV01 / 会議予約 / 会議予約の削除 - Microsoft Intern...

## 会議予約の削除

会議予約を削除してもよろしいですか？

会議名称	定例営業会議
会議番号	0001
会議日時	2007/10/01 16:00

2 クリックする

1

「トップページ」画面の「開催予定の会議」欄で、削除したい会議予約の「削除」をクリックする。

「会議予約の削除」画面が表示されます。

2

「削除」をクリックする。

会議予約が削除されます。

### ご注意

開催中の会議予約は削除できません。

## 繰り返しのある会議の予約を削除する場合は

繰り返しのある会議予約そのものを削除したい場合は、画面左側の「会議予約」をクリックして表示される「会議予約」画面から削除してください。トップページから会議を削除しても、カレンダーの指している日が除外日として設定されるだけで、会議予約そのものは削除されません。

# 会議を開始する

会議の予約を登録した後は、会議を開始することができます。

## 会議を予定通りに開始する

予約の開始時刻に予定通り開始する場合には、本機の操作は必要ありません。以下に、拠点側の手順を説明します。

### 1

#### 会議開始時刻前に、プロジェクトフォンを準備する。

- RTV01と通信できるように、プロジェクトフォンの電源を入れて、LANケーブルを接続します。
- 他の拠点と接続状態にある場合はすべて切断し、どの拠点とも接続していない状態にします。RTV01と通信できるかどうか、他の拠点と接続しているかどうかは、プロジェクトフォンの表示部で確認できます。

#### 会議開始時刻前の「会議状況」画面の表示

「会議状況」画面(66ページ)下部の「参加拠点一覧」には、参加予定の拠点が「参加予定」と表示されます。

#### 会議状況

- 開催予定の会議 (2007/10/01 15:49:23 +09:00)

会議名称	会議番号	会議日時		会議形態	監視
定例営業会議	0001	2007/10/01 16:00 ～		MAX4	
会議状態	自動招集	経過時間	残り時間		予約
開催待ち	未招集	-	-		<div>変更</div>
〈担当者〉			〈連絡先〉		
本社営業部:田中			03-1111-1001		
〈メモ〉					
営業成績報告					
操作					
会議を今すぐ開始する					<div>開始</div>

- 参加拠点一覧

拠点名称	拠点番号	状態	
東京本社	1	参加予定	
大阪本社	2	参加予定	
札幌支社	3	参加予定	
福岡支社	4	参加予定	

## 2

### プロジェクトフォンがRTV01に接続を完了するまで待つ。

予定開始時刻5分前から、RTV01が拠点の端末を自動的に呼び出します。  
遠隔操作で接続が完了するため、発信および応答の操作の必要はありません。端末が呼び出されると、呼び出し音が短く鳴り、その直後に自動的に接続状態となります。

#### ご注意

会議の開始時には本機が接続トポロジーを自動構成するため、接続を完了する前に拠点側から発信しても接続できません。接続が完了するまでお待ちください。

### 拠点の端末呼び出し後の「会議状況」画面の表示

参加予定の拠点が「招集中」と表示されます。

#### ・参加拠点一覧

拠点名称	拠点番号	状態	
東京本社	1	招集中	<input type="button" value="中止"/>
大阪本社	2	招集中	<input type="button" value="中止"/>
札幌支社	3	招集中	<input type="button" value="中止"/>
福岡支社	4	招集中	<input type="button" value="中止"/>

## 3

### 会議を始める。

#### ご注意

- ・接続完了後にMIC MUTEがONに自動設定されます。会議を始める前にプロジェクトフォンのMIC MUTE ボタンを押して、MIC MUTEをOFFにしてください。
- ・親機として接続している拠点が切断してしまうと、その親機に接続されている子機も会議から切断されます。このような場合は、退出の際にいったん会議を終了して、退出拠点を会議の参加拠点から外してもう一度会議の登録から開始までをやり直す必要があります。

### 会議開始時刻後の「会議状況」画面の表示

参加中の拠点が「会議参加中」と表示されます。

#### ・参加拠点一覧

拠点名称	拠点番号	状態	
東京本社	1	会議参加中	
大阪本社	2	会議参加中	
札幌支社	3	会議参加中	
福岡支社	4	会議参加中	

#### 🔊 会議が始まらない場合は

「Q3：会議を開催できない」(78ページ)をご覧ください。

# 予約開始時刻を待たずに会議を開始する

予約の開始時刻を待たずに直ちに会議を開始する場合は、本機のWeb画面で以下のよう  
に操作します。

IP設定

基本設定

メール通知

システム情報

保守

ユーザー用のページへ

開催中の会議 (2007/10/01 15:46:03 +09:00 現在 0 件)

会議名称	会議番号	会議日時	会議形態	監視
現在開催中の会議はありません				

開催予定の会議 (1)

1 クリックする

会議名称	会議番号	会議日時	会議形態	会議予約
定例営業会議	0001	2007/10/01 16:00 ~ 17:00	MAX4	<div>変更</div> <div>削除</div>

トップページ

会議状況

会議予約

会議履歴

拠点情報

拠点設定

通話状況

通話履歴

障害履歴

IP設定

会議状況 ?

開催予定の会議 (2007/10/01 15:46:13 +09:00)

会議名称	会議番号	会議日時	会議形態	監視
定例営業会議	0001	2007/10/01 16:00 ~	MAX4	
会議状態	自動招集	経過時間	残り時間	予約
開催待ち	未招集	-	-	<div>変更</div>
〈担当者〉		〈連絡先〉		
本社営業部:田中		03-1111-1001		
〈メモ〉				
営業成績				
操作				
会議を今すぐ開始する				<div>2 クリックする</div> <div>開始</div>

1

「トップページ」画面の「開催予定の会議」欄で、開始したい会議の会議名称をクリックする。

「会議状況」画面が表示されます。

2

「操作」欄の「開始」をクリックする。

「会議の開始」画面が表示されます。

3

会議の開催時間を選んでから、「実行」をクリックする。

会議の開催準備に入ります。

10秒程度で準備を完了し、RTV01から各拠点へ順次発信を開始します。

#### ご注意

他の会議が開催中には、指定の会議を直ちに開始できない場合があります。



# 予約なしで会議を開始する

緊急の会議など、予約なしで直ちに会議を開始したい場合は、本機のWeb画面で以下のように操作します。

1

「**会議予約する**」(56ページ)の手順に従って、**会議を予約する**。

以下の内容で予約します。

- **会議名称**：会議名称を入力します(適当な文字列でも問題ありません)。
- **会議番号**：会議番号を入力します(適当な番号でも問題ありません)。
- **会議日時**：現在より後の、任意の日時を指定します。
- **参加拠点**：参加拠点を指定します。
- **会議形態**：会議の形態を選びます。

上記以外の設定項目については、設定の必要はありません。

2

「**予約開始時刻を待たずに会議を開始する**」(前ページ)の手順に従って、**会議を開始する**。

# 会議中の操作

## 会議の状況を確認する

開催中の会議の状況は、本機の「会議状況」画面で確認できます。

「会議状況」画面では予約時に入力した会議の情報だけでなく、会議に参加している各拠点の状況なども確認できます。

RTV01 ProjectPhone

IPアドレス: 192.168.100.101 ログイン: administrator

会議状況 ?

クリックする

2007/10/01 16:00:00 +09:00

会議名称	会議番号	会議日時	会議形態	監視
定例営業会議	0001	2007/10/01 16:00 ~ 17:00	MAX4	監視
会議状態	自動招集	経過時間	残り時間	予約
開催中	終了	00分	1時間 00分	変更

〈担当者〉 本社営業部:田中

〈連絡先〉 03-1111-1001

〈メモ〉

営業成績報告

操作

開催中の会議を終了する 終了

開催時間を延長する 延長

参加拠点一覧

拠点名称	拠点番号	状態
東京本社	1	☎ 会議参加中
大阪本社	2	☎ 会議参加中
札幌支社	3	☎ 会議参加中
福岡支社	4	☎ 会議参加中

「設定・管理ページ」の「会議状況」をクリックする。

「会議状況」画面が表示されます。

### リアルタイムに会議の状況を確認する(会議の監視)

「会議状況」画面で「監視」をクリックして、「会議の監視」画面を表示します。

画面に表示される情報の更新間隔を設定してから「開始」をクリックすると、会議の監視が始まります。

# 会議を延長する

予約の終了時刻を越えて会議を延長する場合は、本機のWeb画面で以下のように操作します。

RTV01 ProjectPhone

IPアドレス: 192.168.100.101 ログイン: administrator

会議状況

- 現在開催中の会議 (2007/10/01 16:00:00 +09:00)

会議名称	会議番号	会議日時		会議形態	監視
定例営業会議	0001	2007/10/01 16:00 ~ 17:00		MAX4	監視
会議状態	自動招集	経過時間	残り時間		予約
開催中	終了	00分	1時間 00分		変更
〈担当者〉		〈連絡先〉			
本社営業部:田中		03-1111-1001			
〈メモ〉					
営業成績報告					
操作					
開催中の会議を終了する					終了
開催時間を延長する					延長

会議の延長

会議 (定例営業会議) の延長時間を選択してください。

15分延長

実行

**1** 「会議状況」画面(前ページ)で、「操作」欄の「延長」をクリックする。  
「会議の延長」画面が表示されます。

**2** 会議の延長時間を指定してから、「実行」をクリックする。  
会議の開催時間が延長されます。

### ご注意

他の会議が開催中には、指定の会議を延長できない場合があります。

# 会議中に参加拠点を変更する

会議中に本機側から別の拠点を招集したり、参加中の拠点を削除したりできます。

## 参加拠点変更時のご注意

「会議予約の追加／変更」画面(56ページ)で指定した会議形態によって、参加拠点の変更に一部制限があります。

### 「最大4拠点(プロジェクトフォンのみ)」の会議の場合

- 会議中の拠点の招集(追加)と削除は、最大4拠点の範囲となります。
- 追加招集によって会議に参加する拠点数が5拠点以上となる場合は、いったん会議を終了させてから、参加拠点の変更に合わせて会議形態を「最大10拠点」に変更する必要があります。

### 「最大10拠点」の会議の場合

- 会議中の拠点の招集(追加)と削除は、最大10拠点の範囲となります。
- カスケード親機として接続している拠点を削除すると、その先に接続している拠点端末との接続が切れてしまう場合があります。この場合は、接続を復元するためにいったん会議を終了させてから、再度開始する必要があります。

## 1

「会議状況」画面(66ページ)で、「予約」欄の「変更」をクリックする。

会議状態	自動招集	経過時間	残り時間		予約
開催中	終了	00分	1時間 00分		変更
〈担当者〉			〈連絡先〉		
本社営業部:田中			03-1111-1001		
〈メモ〉					
営業成績報告					

「会議予約の追加／変更」画面が表示されます。

## 2

参加拠点を変更する。

### 別の拠点を会議に招集する

- 「参加拠点」欄で「拠点選択」をクリックして、「会議予約の追加／変更／拠点選択」画面を表示します。
- 招集したい拠点をクリックしてチェックを付けてから、「適用」をクリックしてください。

### 参加中の拠点を会議から削除する

「参加拠点」欄で、削除したい拠点をクリックしてチェックを外します。

## 3

「適用」をクリックする。

手順2で指定した拠点が招集または削除されます。

# 会議を終了する

## 予約通り終了時刻に終了する

本機の操作は必要ありません。

終了時刻になると、自動的に拠点間の接続が解除されます。

## 直ちに会議を終了する

本機のWeb画面で以下のように操作します。

会議履歴 拠点情報 拠点設定 通話状況 通話履歴 障害履歴 IP設定 基本設定	会議状態	自動招集	経過時間	残り時間	予約
	開催中	終了	00分	1時間 00分	<input type="button" value="変更"/>
	〈担当者〉		〈連絡先〉		
	本社営業部:田中		03-1111-1001		
	〈メモ〉				
	営業成				
	操作				
	開催中の会議を終了する				<input type="button" value="終了"/>
	開催時間を延長する				<input type="button" value="延長"/>

http://10.0.0.1 - RTV01 / 会議情報 / 会議の終了 - Microsoft Internet E...

### 会議の終了

会議 (定例営業会議) を終了します。  
よろしければ「実行」ボタンをクリックしてください。

1

「会議状況」画面(66ページ)で、「操作」欄の「終了」をクリックする。

「会議の終了」画面が表示されます。

2

「実行」をクリックする。

会議の終了処理に入ります。

確実に切断するために、拠点側のプロジェクトフォンのオンフックボタンを押して、切断操作を行ってください。

# 本機で利用できる保守管理機能

ここでは本機で利用できる保守管理機能の概要を説明します。それぞれの機能について詳しくは、各設定画面のヘルプをご覧ください。

## 通話の状況を確認する

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「通話状況」をクリックして表示される「通話状況」画面で、本機のSIPサーバー機能を利用した通話の状況を確認できます。

確認できる情報は発信日時および発番号(発信元の拠点番号)、着番号(相手先の拠点番号)、通話時間です。

## 通話の履歴を確認する

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「通話履歴」をクリックして表示される「通話履歴」画面で、本機のSIPサーバー機能を利用した通話の履歴を確認できます(最大25,000件)。

- 確認できる情報は発信日時および発番号(発信元の拠点番号)、着番号(相手先の拠点番号)、通話時間、状態(通話が終了したときの状態)です。
- 期間や発番号、着番号などを指定して、履歴を絞り込んで表示することもできます。

## 障害を監視する

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「障害履歴」をクリックして表示される「障害履歴」画面で、本機が検出する各種エラーや異常状態の履歴を確認できます(最大1,500件)。

- 確認できる情報は発信日時および発番号(発信元の拠点番号)、着番号(相手先の拠点番号)、障害レベル、障害内容です。
- 期間や発番号、着番号などを指定して、履歴を絞り込んで表示することもできます。
- 障害が発生した場合に、自動的にメールを送信して通知するように設定することもできます。「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「メール通知」をクリックして表示される「メール通知」画面で、必要な設定を行ってください。

## 本機を保守・管理する

「設定・管理ページ」管理者用メイン画面の「保守」をクリックして表示される「保守」画面で、本機の様々な保守管理機能を利用できます。

### コンフィグの管理

コンフィグ(CONFIG)として記録されている、本機の設定情報を管理します。

- **コマンドの入力**：コマンドを個別に入力し設定を表示・変更します。
- **コンフィグを画面へ出力**：本機の現在の設定情報を表示します。
- **コンフィグをファイルへ出力**：本機の現在の設定情報を、コンフィグファイルとしてパソコンに保存します。

### SYSLOGの管理

ログ情報(SYSLOG)として記録されている、本機の動作履歴を管理します。

- **ホストアドレス**：本機のSYSLOGをSYSLOGサーバーに転送する際の、SYSLOGサーバーのIPアドレスを指定します。
- **DEBUG/INFO/NOTICE**：SYSLOGを出力するかどうかを、種類ごとに指定します。
- **SYSLOGを画面へ出力**：本機の現在のSYSLOGを表示します。
- **SYSLOGをファイルへ出力**：本機の現在のSYSLOGを、ファイルとしてパソコンに保存します。
- **SYSLOGの消去**：本機が記録しているすべてのSYSLOGを消去します。

### 監視情報の管理

本機が記録している監視情報(会議履歴、通話履歴、障害履歴)を管理します。

- **フラッシュメモリへの保存時刻**：監視情報を本機内部のフラッシュメモリに保存する時刻を指定します。保存動作中(数秒～数十秒)は呼制御が一時的に停止するため、運用形態や利用形態に合わせて設定してください。
- **監視情報の保存**：強制的に不揮発性のフラッシュメモリにコピーして保存します。
- **監視情報の消去**：監視情報を、フラッシュメモリに保存されている内容も含めてすべて消去します。

### 特殊操作

- **メンテナンス状態へ移行**：本機の設定を変更する際は、本機をメンテナンス状態に移行させてから、設定を変更するようにしてください。メンテナンス状態の間は、新たな会議の開催要求あるいは本機を介しての新しい通話要求を受け付けません。
- **再起動**：現在の呼を強制的に切断して再起動します。
- **初期状態に戻す**：「本機の設定を初期化する」(80ページ)をご覧ください。

# 故障かな？と思ったら

## お問い合わせになる前に

本書の内容をご覧になり、問題を解決してみましょう。

### 基本的なチェック

- **POWERランプは点灯していますか？**  
点灯していない場合は、次ページをご覧ください。
- **本機背面のSETUPポートまたはLANポートのLINKランプは点灯していますか？**  
点灯していない場合は、次ページをご覧ください。

### STATUSランプの状態を確認してください

点灯している場合は、通信に障害が発生しています。74ページをご覧ください。

## 問題を解決する

症状ごとの説明ページをご覧ください。

- **Q1：ランプ類が消灯／点滅している**(73ページ)
- **Q2：「設定・管理ページ」で設定できない**(75ページ)
- **Q3：会議を開催できない**(78ページ)
- **Q4：その他の問題**(79ページ)

### それでも問題が解決しない場合は

サポート窓口までご相談ください(85ページ)。



# Q1 ランプ類が消灯／点滅している

症状▶	原因▶	対策
ランプがひとつも点灯しない	本機の電源が入っていない	POWER（電源）スイッチを「ON」にして、電源を入れる。
	電源コードがコンセントに接続されていない	コンセントから外れているときは、正しく差し込み直す。
	主ブレーカーや配線別ブレーカーが切れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブレーカーが「切」になっている場合は、「入」にする。</li> <li>ブレーカーが「入」になっている場合は、一度「切」にしてから「入」にし直す。</li> </ul>
	停電している	停電中は、復旧するまで待つ。
	コンセントに電気が来ていない（他の電気製品も使えない）	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼する。</li> <li>他の製品が動くときは、本機の修理を依頼する。</li> </ul>
本機背面のSETUPポートまたはLANポートのLINKランプが点灯しない	HUBやパソコンの電源が入っていない	本機および本機に接続した機器の電源が入っていることを確認する。LANポートに機器を正しく接続しても、接続した機器の電源が入っていないときは、本機のLANランプは点灯しない。
	正しく接続されていない	本機側、パソコンおよびHUB側共にコネクタをいったん外してから、もう一度カチッとロックするまで差し込む。
	LAN用のケーブルを使っていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISDNケーブルを使用していないかどうか確認する（コネクタ形状が全く同じなので注意が必要）。</li> <li>他のLANケーブルと取り替えてみる。</li> </ul>
	パソコンのLAN（ネットワーク）カードが正しく動作していない、または接続モードが本機と合っていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼する。</li> <li>他の製品が動くときは、本機の修理を依頼する。</li> </ul>
すべてのランプが点灯している	電源投入後の設定ファイル待ち状態（正常動作）	そのまま放置すると、10秒後に自動的に起動する。
	本体が故障している	本機の修理を依頼する。

# Q1 ランプ類が消灯／ 点滅している(つづき)

症状▶	原因▶	対策
STATUSランプが点滅している	本機が誤動作している	本機を初期化してから(80ページ)、設定をやり直す。
STATUSランプが点灯している	通信障害が発生している	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信障害が発生していないか、IPキープアライブの設定(34ページ)が正しいか確認する。</li> <li>IPキープアライブの送出先IPアドレスを複数設定しているときは、どれか1つでも障害があるとSTATUSランプは点灯する。</li> </ul>
通信障害が発生しているのに、STATUSランプが点灯しない	IPキープアライブの設定がされていない	IPキープアライブを設定する(34ページ)。
	IPキープアライブ機能が通信障害を検出していない	数分間待ってから、再度STATUSランプの状態を確認する。

## Q2 「設定・管理ページ」で 設定できない

症状▶	原因▶	対策
「設定・管理ページ」を表示できない	本機がパソコンを認識していない(LANポートのLINKランプが点灯していない)	「本機背面のSETUPポートまたはLANポートのLINKランプが点灯しない」(73ページ)をご覧ください。
	パソコンのネットワーク設定が不適切(LAN上の他のパソコンやネットワークプリンタも使用できない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• LANボードやLANカードの設定をやり直して、パソコンを再起動する。</li> <li>• パソコンのIPアドレスをリセットする。</li> </ul>
	本機が誤動作している	本機を初期状態に戻してから、設定をやり直す(80ページ)。
	本機のLANポートのIPアドレスを設定していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機のLANポートにパソコンを接続する場合、本機のLANポートにIPアドレスを設定する。</li> <li>• パソコンのネットワーク設定を正しく行う。DHCPを利用している場合は、DHCPサーバーを別途用意する。</li> </ul>
	本機のSETUPポートのIPアドレスを変更した	本機のSETUPポートのIPアドレスを変更した場合、同じサブネットのIPアドレスを「DHCPで配布するIPアドレス」にも設定する。
	LANポートに接続したパソコンから、SETUPポートのIPアドレス宛のURLを指定している	「http:// (LANポートに設定した本機のIPアドレス) /」でアクセスする。
	「設定・管理ページ」に対するアクセス権がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IPアドレスによるアクセス制限機能が働いていると、許可されていないホストからのアクセスに対しては、「Error503 This server is available to members only. I'm sorry, your host is not member.」と表示される。遠隔操作する場合は、「GUIの設定」の設定を変更する。</li> <li>• アクセスを許可されているパソコンから操作するか、または「GUIの設定」画面で設定を変更して、アクセスを許可する。</li> </ul>
	「GUIの設定」画面でポート番号を変更している	「http:// (IPアドレス) : (ポート番号) /」 (例 : http://10.0.0.1:80/) でアクセスする。

# Q2 「設定・管理ページ」で 設定できない(つづき)

困ったときは

症状▶	原因▶	対策
「設定・管理ページ」を表示できない(つづき)	URL 指定が不適切である	本機を始めて使うときや初期状態に戻した後は、パソコンをSETUPポートに接続し、「http://10.0.0.1/」にアクセスする。
	パソコンのWebブラウザの接続経路設定が、LAN経由になっていない	Windows版InternetExplorer6の場合、「インターネットオプション」の「接続」タブでダイヤルアップ接続をする設定になっていると、「設定・管理ページ」にアクセスできないので、「ダイヤルしない」に変更する。
	パソコンのWebブラウザでProxy（プロキシ）サーバーを使用している	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロキシの設定が正しくないと、「設定・管理ページ」が表示できなくなる。</li> <li>• Windows版InternetExplorer6の場合：メニューから「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」タブ→「LANの設定」を開き、「プロキシサーバーを使用する」のチェックをはずす。</li> </ul>
パスワードを入力しても「設定・管理ページ」が表示されない	パスワードが間違っている（パスワードエラーが表示される）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パスワードは、全角／半角や大文字／小文字の違いも区別される。必ず半角の英数字で大文字／小文字まで正確に入力する。</li> <li>• Webブラウザに認証情報（ユーザー名、パスワード）が残っていると、それを自動的に送信するため、エラーになる場合がある。ユーザー名を削除してからパスワードを入力し直すか、ブラウザをいったん終了してから「設定・管理ページ」を開き直す。</li> </ul>
	ログインパスワードでは「設定・管理ページ」にアクセスできない	パスワードを設定している場合は、管理パスワードを入力する。
設定内容が元に戻ってしまう	設定後に「適用」をクリックしていない	「設定・管理ページ」で設定を変更したときは、必ず「適用」をクリックして設定を保存する。「適用」をクリックせずに画面を閉じると、設定内容は保存されない。

症状▶	原因▶	対策
「設定・管理ページ」を開く際に、Webブラウザにパスワードを保存できない	「ネットワークパスワードの入力」画面で、ユーザー名を空欄にしている	Webブラウザによっては、パスワードを保存するためにユーザー名の入力が必要な場合がある。この場合は、任意の文字列を入力する。
パスワードを設定していないのに認証ダイアログが表示される	パスワードを設定していない場合でも、認証ダイアログは表示される	認証画面が表示されたら、「ユーザー名」欄に「administrator」と入力してから、「パスワード」欄は空欄のままで「OK」をクリックする。

# Q3 会議を開催できない

症状▶	原因▶	対策
拠点情報を登録できない(障害履歴に何も表示されない)	拠点のプロジェクトフォンに、本機への登録のための設定がされていない。または、サーバーアドレスの設定が間違っている	拠点側のプロジェクトフォンで、本機の(LANポートの) IPアドレスをSIPサーバーアドレスとする設定がされているかどうか確認する。
	拠点のプロジェクトフォンから、本機へネットワーク環境に問題がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ネットワーク機器の設定を確認する。</li> <li>最寄のネットワーク機器から順にpingを実行して、問題を切り分ける。</li> </ul>
拠点情報を登録できない (障害履歴に401エラーが表示される)	本機に拠点情報が設定されていない	拠点情報を設定する。
	認証パスワードが合っていない	本機に設定している拠点情報のパスワードと同じものを、拠点側のプロジェクトフォンの認証用パスワードとして設定する(大文字と小文字の区別に注意する)。
拠点情報を登録できない (障害履歴に403エラーが表示される)	SIPドメイン名が合っていない	本機の基本設定に設定しているドメイン名と同じドメイン名を、拠点側のプロジェクトフォンのSIPアドレスに指定(sip: (拠点番号) @ (ドメイン名))する。
拠点情報を登録できない (障害履歴に480エラーが表示される)	本機がメンテナンス状態である	メンテナンス状態では新たな登録を受け付けない。「通常状態へ移行する」画面で「実行」をクリックする。
会議の参加拠点を招集できない	拠点のプロジェクトフォンの電源が入っていない	プロジェクトフォンにACアダプターを接続して、電源が入っていることを確認する。
	拠点のプロジェクトフォンのLANケーブルが外れている	プロジェクトフォンにLANケーブルを正しく接続する。
	拠点のプロジェクトフォンの「リモート制御」が有効になっていない	プロジェクトフォン本体のキー操作で、設定を変更する(52ページ)。

# Q4 その他の問題

症状▶	原因▶	対策
本機やパソコンで、NTPサーバーを使った時刻合わせができない	NTPサーバーのIPアドレスやドメイン名が間違っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入手したNTPサーバー情報と比較し、正しく設定されていることを確認する。</li> <li>• NTPサーバーに対してpingを実行し、NTPサーバーが稼動していることを確認する。</li> </ul>
	登録されているNTPサーバーへの経路が設定されていない	プロバイダ設定や経路設定を確認する。
本機の時刻が正しく表示されない	タイムゾーンが正しく設定されていない	本機の設置場所に合わせた時間帯を指定する。
CONSOLEポートからログインできない	ストレートタイプのシリアルケーブルを使用している	クロスタイプのシリアルケーブルを使用して接続する。
	シリアルポートの設定が合っていない	通信速度9600bps、8ビット、1ストップビット、パリティなしに設定する(82ページ)。
「拠点情報」の「IPアドレス」のリンクからプロジェクトフォンの「WEB設定ページ」にアクセスできない	SETUPポート経由で本機の「設定・管理ページ」にアクセスしている	LANポート経由で本機の「設定・管理ページ」にアクセスしてください。

# 本機の設定を初期化する

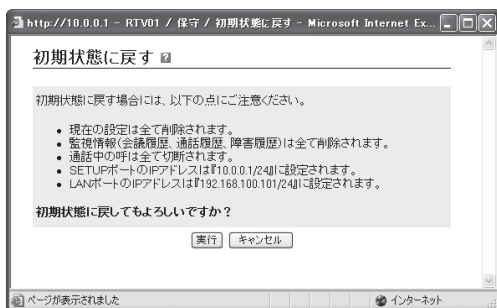
本機の設定内容を、プロジェクトフォン会議管理ファーム版の初期設定に戻すことができます。

## ご注意

- 通常版ファームに戻したい場合は、プロジェクトフォンお客様相談センター（85ページ）にお問い合わせの上、ヤマハ修理センターに送付してください。
- 設定内容を初期設定時の状態に戻す場合は、以下の点にご注意ください。
  - 実行した直後にすべての通信が切断されます。
  - 初期設定値が存在する設定は、初期設定値に変更されます。
  - 登録されたアドレスは消去されます。
  - 不揮発性メモリの内容が書き換えられます。
  - 操作を完了した後に、設定内容を元の状態に戻すことはできません。

## 「設定・管理ページ」から初期化する

本機の設定内容を初期状態に戻したいときは、「初期状態に戻す」画面で設定を初期化できます。



設定内容について詳しくは、設定画面の「ヘルプ」をクリックして、表示される説明をご覧ください。

### 「初期状態に戻す」画面を開くには

「設定・管理ページ」から、以下の順に設定画面のボタンをクリックします。

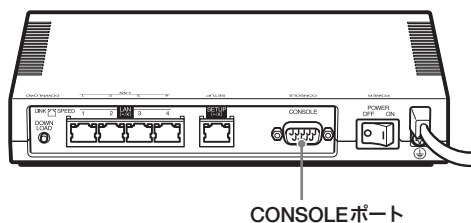
- ▶ 管理者用メイン画面の「保守」
- ▶ 「特殊動作」-「初期状態に戻す」欄の「実行」

## 「設定・管理ページ」から初期化できないときは

本機のIPアドレスを誤って設定した場合など、本機の「設定・管理ページ」から初期化できない場合には、CONSOLEポートに接続したパソコンを使用して本機を初期化できます。

### 1.CONSOLEポートとパソコンを接続する

本機のCONSOLEポートとパソコンのシリアルポートを、クロスタイプのシリアルケーブルで接続します。



#### ヒント

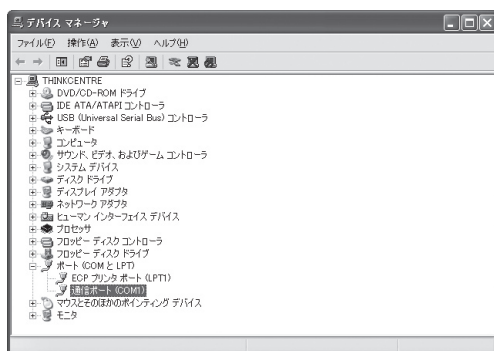
シリアルケーブルの両端のコネクタは、本機(D-sub9ピン、オス)とパソコンに適合したタイプをご使用ください。



## 2.CONSOLEポート番号を確認する

接続に使用するパソコンのシリアルポートが、どのCOMポート番号に割り当てられているのかを確認します。

- 1 「スタート」メニューから「マイ コンピュータ」をクリックする。
- 2 「マイ コンピュータ」画面左側の「システムのタスク」欄にある、「システム情報を表示する」をクリックする。  
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 3 「ハードウェア」タブをクリックする。
- 4 「デバイス マネージャ」をクリックする。  
「デバイス マネージャ」画面が表示されます。
- 5 「ポート (COMとLPT)」を展開して、「通信ポートのポート番号」(COMx)を確認する。



通常は「COM1」が割り当てられています。

- 6 「デバイス マネージャ」画面と「システムのプロパティ」画面を閉じる。

## 3.CONSOLEポートを指定して接続する

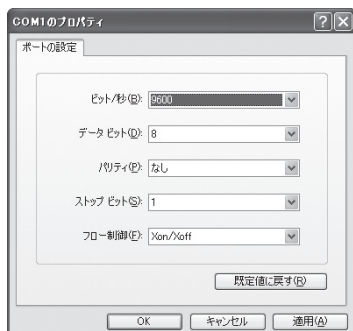
CONSOLEポートに接続しているパソコンからターミナルソフトウェアで本機にログインし、コンソールコマンドを送信して設定します。ここでは、Windows標準の「ハイパーターミナル」を使用する場合を例に説明します。

- 1 「スタート」メニューから「プログラム」-「アクセサリ」-「通信」-「ハイパーターミナル」をクリックする。  
「接続の設定」画面が表示されます。
- 2 「名前」欄に接続名を入力する。  
接続名は自由に設定してください。
- 3 「2.CONSOLEポート番号を確認する」で確認したパソコンのシリアルポート番号を「接続方法」で選んでから、「OK」をクリックする。



「COMxのプロパティ」画面が表示されます。

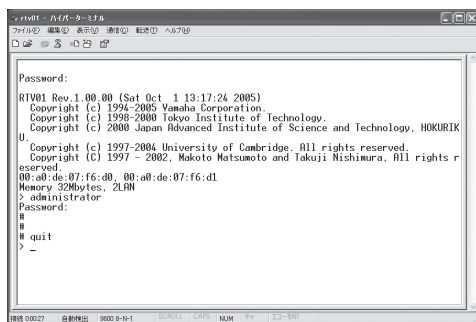
## 4 通信設定を以下の値に変更する。



- ビット/秒：9600
- データビット：8
- パリティ：なし
- ストップビット：1
- フロー制御：Xon/Xoff

## 5 「OK」をクリックする。

ハイパーターミナルの画面が表示されます。



困ったときは

## 4.CONSOLEポートからログインして初期化する

- 1 本機の電源を切る。
- 2 本機のCONSOLEポートとパソコンのシリアルポートを、シリアルケーブルで接続する。

接続方法とパソコンの設定については80ページをご覧ください。

- 3 パソコンでターミナルソフトウェアを起動する。

詳しくは81ページをご覧ください。

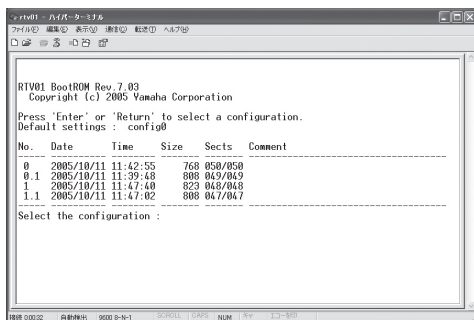
- 4 本機の電源を入れる。

パソコンのターミナルソフトウェアの画面に本機のROMのバージョンが表示され、Enterキーの入力待ち状態になります。

- 5 「Will start automatically in～」のカウンタダウンが終わらないうちに、Enterキーを押す。

「Will start automatically in～」のカウンタダウンが終わると通常状態で起動してしまいます。起動してしまった場合は、本機の電源を切ってから10秒以上の時間をおき、もう一度電源を入れ直して操作してください。

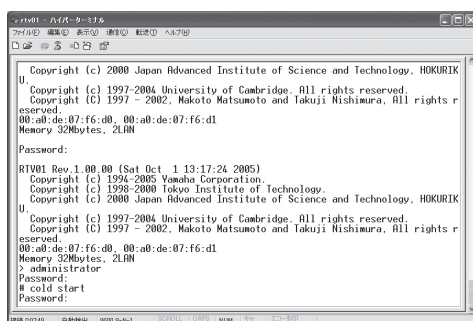
- 6 設定ファイルの選択待ち状態になったら、0～1.1のうちで画面の「Default settings」に表示されていない設定ファイル番号を指定してから、Enterキーを押す。



ファームウェアが起動すると、ファームウェアのリビジョンなどが表示されます。

- 7 10秒程度待ってから、Enterキーを押す。
- 8 「Password:」と表示されたら、Enterキーを押す。  
「>」が表示されると、コンソールコマンドを入力できるようになります。
- 9 「administrator」と入力してから、Enterキーを押す。
- 10 「Password:」と表示されたら、Enterキーを押す。

- 11 「#」が表示されたら、「cold start」と入力してからEnterキーを押す。
- 12 「Password:」と表示されたら、Enterキーを押す。



本機の設定が初期化されます。

# パスワードを忘れてしまった場合は

ログインパスワードや管理パスワードとして設定した文字列を忘れてしまうと、本機にログインできなくなります。このような場合でも、CONSOLEポートに接続したシリアル端末から以下の非常用パスワードを入力すると、本機にログインできます。

## 非常用パスワード

「w,lXlma」(ダブリュー、カンマ、エル、エックス、エル、エム、エー)

## ヒント

CONSOLEポートへの接続については80ページ、パソコンの設定については81ページをご覧ください。

非常用パスワードを使ってログインすると最初から管理モードに入れますので、忘れてしまったログインパスワードや管理パスワードを再設定してください。パスワード設定の際に要求される古いパスワードも、この非常用パスワードが利用できます。

# サポート窓口のご案内

## お問い合わせの前に

### 本書をもう一度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できるかどうかご確認ください。

### ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様の使用状況を把握するために、弊社の担当者がログ(SYSLOG)情報や設定(config)情報を確認させていただくことがあります。ログ情報や設定情報を問題の症状とあわせてお知らせいただくことで、問題の解決が早まることがあります。ログ情報や設定情報は、以下の方法でご確認ください。

- 1 パソコンでWebブラウザを起動して、ファイルメニューの「開く」を選ぶ。  
「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 「http://10.0.0.1/」と半角英字で入力してから、「OK」をクリックする。  
「設定・管理ページ」ユーザー用メイン画面が表示されます。
- 3 「管理者用のページへ」をクリックする。  
「設定・管理ページ」管理者用メイン画面が表示されます。
- 4 「保守」をクリックする。
- 5 設定情報を確認したいときは「コンフィグの管理」-「コンフィグを画面へ出力」欄の「実行」、ログ情報を確認したいときは「SYSLOGの管理」-「SYSLOGを画面へ出力」欄の「実行」をクリックする。  
本機のログまたは全設定情報が表示されます。  
「本機を保守・管理する」(71ページ)もあわせてご覧ください。

## お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

### お客様ご相談センター

TEL : 053-460-2822

### ご相談受付時間

9時～12時、13時～17時

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

### お問い合わせページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

# 主な仕様

## 外形寸法(幅×高さ×奥行き)：

220 mm×42.6 mm×141.5 mm

## 質量：

700 g

## 電源：

AC100 V (50/60 Hz)

## 消費電流：

最大0.09A

## 動作環境条件：

周囲温度 0～40 °C

周囲湿度 15～80 % (結露しないこと)

## 保管環境条件：

周囲温度 -20～50 °C

周囲湿度 10～90 % (結露しないこと)

## 電波障害規格：

VCCI クラスA

## 認証番号：

D05-0293001

## LANインタフェース：

イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

4ポートスイッチングHUB

プロトコル：IEEE802.3/IEEE802.3u

通信モード：オートネゴシエーション、固定  
設定

コネクタ：RJ-45

MACアドレス：本機ラベルに表示

極性：ストレート/クロス自動判別

## SETUPインタフェース：

イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

1ポート

プロトコル：IEEE802.3/IEEE802.3u

通信モード：オートネゴシエーション、固定  
設定

コネクタ：RJ-45

MACアドレス：本機ラベルに表示

極性：ストレート/クロス自動判別

## シリアルインターフェース

DTE固定(パソコンとの接続はクロスケーブル)

ポート数：1

非同期シリアル：RS-232C

コネクタ：D-sub 9ピン

データ転送速度：9600bit/s

データビット長：8ビット

パリティチェック：なし

ストップビット数：1ビット

フロー制御：ソフトウェア(Xon/Xoff)

## 表示機能(LED)

前面：POWER、STATUS、CONFERENCE、  
VoIP

背面：LINK、SPEED

# 本機を譲渡／廃棄する際のご注意

本機を譲渡／廃棄する際は、設定内容を初期化してください。

## ご注意

本機を譲渡する際は、付属のマニュアル類もあわせて譲渡してください。

保存されている設定内容には、拠点の登録に必要なIDおよびパスワードの情報、通信履歴などの情報も含まれています。設定内容を初期化せずに譲渡／廃棄すると、これらの情報が悪意のある第三者によって悪用されるおそれがあります。

初期化のしかたについては、「本機の設定を初期化する」(80ページ)をご覧ください。

# 索引

## 英数字

CONFERENCE ランプ .....	13、14
config.....	71、85
CONSOLEポート .....	15、80、84
CSVファイル .....	42～47
Internet Explorer.....	21
IPアドレス	
LANポートのIPアドレスを指定する .....	28
IP キーブアライブ .....	34
LANポート .....	15、28
MACアドレス .....	16
Microsoft Excel .....	44
NTP .....	27
POWER ランプ .....	14
PJP-100H、PJP-50Rの設定	
→プロジェクトフォン	
SETUPポート .....	15、19
SIPドメイン名.....	39、51
STATUSランプ.....	14、72、74
SYSLOG.....	71、85
VoIPランプ.....	14
Webブラウザによる設定操作 .....	21

## 五十音順

### ア行

アース端子 .....	15
-------------	----

### カ行

#### 会議

延長する .....	67
会議開催の流れ .....	55
会議を開催できない .....	78
開始する .....	62
概要 .....	54
繰り返しの会議 .....	60
終了する .....	69
予約する .....	56
予約を削除する .....	61
会議状況画面 .....	66
各部の名称 .....	14
監視情報 .....	70
キーブアライブ .....	34
拠点情報	
拠点情報画面 .....	53
拠点情報の設定 .....	40
拠点情報ファイル.....	42～47
拠点の設定 .....	40
拠点番号 .....	37、41
繰り返しの会議 .....	60
困ったときは .....	72



## サ行

サポート規定 .....	10
サポート窓口 .....	85
仕様 .....	86
障害履歴 .....	70
譲渡する際のご注意 .....	87
初期化 .....	80
接続 .....	19
設定	
本機の設定 .....	21、36
拠点のプロジェクトフォンの設定 .....	48
設定・管理ページ .....	21
設定情報 (config) .....	71、85
設定ファイル .....	71、85

## タ行

通話状況 .....	70
通話履歴 .....	70
電源コード .....	15

## ナ行

夏時間 .....	27
認証番号 .....	16、86

## ハ行

廃棄する際のご注意 .....	87
パスワード	
本機の管理 (ログイン) パスワード .....	24、84
拠点ごとの認証パスワード .....	41、51
プロジェクトフォン .....	48、54
保守・管理 .....	70

## マ行

メール通知 .....	70
-------------	----

## ラ行

履歴	
通話履歴 .....	70
障害履歴 .....	70
ログ (SYSLOG) .....	71、85



●お客様相談センター

TEL 053-460-2822

ご相談受付時間

土・日・祝日を除く 9時～12時、13時～17時

お問い合わせページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

WN45220